

目 次

I	文学部	1
1.	専門教育科目の履修	3
2.	1年間に履修登録できる単位数の上限	6
3.	所定の単位を優れた成績で修得した者（成績優秀者）の認定	6
4.	成績優秀者の履修登録単位数の上限緩和	7
5.	3年以上4年未満での早期卒業	7
6.	学期末試験と成績	7
7.	学外での学修に係る単位の認定	8
8.	学科分属・コース選択	8
9.	6年一貫教育プログラム	9
10.	大学院授業科目の先行履修	9
11.	編入学生のために	10
12.	文学部プロジェクト科目の案内	10
13.	文学部で取れる資格	12
14.	履修モデル	14
15.	文学部専門科目一覧（令和4年度以降入学者用）	38
16.	文学部専門教育科目時間割（令和4年度以降入学者）	57
17.	文学部専門科目一覧（令和3年度以前入学者用）	67
18.	文学部専門教育科目時間割（令和3年度以前入学者）	91
II	理学部	101
1.	専門教育科目等の履修	103
2.	1年間に履修登録できる単位数の上限	104
3.	3年以上4年未満での早期卒業	104
4.	学期末試験と成績	105
5.	学外での学修に係る単位の認定	105
6.	6年一貫教育プログラムおよび編入生大学院進学支援プログラム	105
7.	先行履修教育プログラム	106
8.	学科関係専門教育科目・履修モデル等の案内	108
8. 1	数物科学科	108
	数学コース	112
	物理学コース	115
	数物連携コース	122
8. 2	化学生物環境学科	127
	化学コース（令和2（2020）年度以降入学者用）	133
	生物科学コース	150

環境科学コース	170
9. 編入学生のために	177
10. 理学部専門教育科目一覧	178
11. 理学部専門科目授業時間割表	191
12. 理学部専門科目 積極開放科目	197
III 生活環境学部	199
1. 専門教育科目以外の履修について	201
2. 専門教育科目の履修	202
3. 1年間に履修登録できる単位数の上限	207
4. 所定の単位を優れた成績で修得した者の履修登録単位数の上限緩和	208
5. 3年以上4年未満での早期卒業	208
6. 学期末試験と成績	208
7. 学外での学修に係る単位の認定	209
8. 6年一貫教育プログラム	209
9. 博士前期課程授業科目の先行履修制度	210
10. 学科・コース関係専門教育科目履修モデル等の案内	211
11. 編入学生のために	225
12. 生活環境学部で取れる資格	225
13. 生活環境学部専門教育科目一覧	228
14. 生活環境学部専門教育科目時間割表	260
15. 令和7年度生活環境学部専門教育科目 積極開放科目	269
IV 工学部	271
1. 専門教育科目以外の履修について	273
2. 専門教育科目の履修	273
3. 1年間に履修登録できる単位数の上限	275
4. 所定の単位を優れた成績で修得した者（成績優秀者）の履修登録単位数の上限緩和	275
5. 3年以上4年未満での早期卒業	276
6. 学期末試験と成績	276
7. 学外での学修に係る単位の認定	276
8. 専門教育科目履修モデル等の案内	277
9. 編入学生のために	279
10. 工学部で取れる資格	279
11. 工学部専門教育科目一覧	280
12. 工学部専門教育科目時間割表	284
13. 工学部専門教育科目 積極開放科目	288

Ⅲ 生活環境学部

学部の目的

本学部では、生活の根幹である衣・食・住や家族の環境など、生活を取り巻く様々な生活環境を教育研究の対象とし、生活に関わる諸問題を科学的に分析し、高度な教育・研究を進め、生活診断力や生活改善力に優れ、生活者の目で見えて社会をリードできる女性専門職業人を養成することを目的とする。

学科の目的

- ・ 食物栄養学科では「食」にかかわるバイオサイエンスの高度な研究・教育を行うと同時に、人間栄養学にかかわる分野を充実させ、科学的概念と同時に実践的知識を身につけた食物・栄養分野における日本のリーダーとなる専門家の育成を目的とする。
- ・ 心身健康学科では、心と身体の健康に関する系統的で幅広い知識と実践的応用力を、科学的視点と総合的人間理解の視点から身につけ、心身の健康の維持増進を実践推進できる人材育成を目的とする。
- ・ 住環境学科では、住宅・インテリアから建築・都市・地域にいたる広範な領域を対象に、地球環境時代にふさわしく質の高い生活空間を計画・設計し、建設・管理するための技術を身につけた専門家の養成を目的とする。
- ・ 文化情報学科では、生活に関わる諸問題を人文社会科学とライフ・コンピューティングの観点から文理横断的・文理循環的に分析し、生活に関わる「社会的課題の解決」とより良い社会の創造という「新しい価値の創出」に貢献できる女性人材の育成を目的とする。
- ・ 情報衣環境学科は、衣環境学と情報工学の基本的事項や先端技術を教育・研究し、安全で快適な衣環境の構築、モバイル装置としての衣服の構想、並びにライフ・コンピューティングによる生活改善を行うための専門知識や技術を身につけた人材の養成を目的とする。
- ・ 生活文化学科は、女性リーダーに必要な教養を身につけ、広い視野と専門的スキルの両者を兼ね備えた人材を育成する。人間生活を支える多様な価値観を理解して、うまくコミュニケーションするスキルを学び、様々な社会生活課題に専門的知識で取り組み、社会に貢献できる人材を育成することを目的とする。

生活環境学部では、入学した年次の「生活環境学部規程」（『CAMPUS LIFE』参照）が卒業まで原則として適用されます。

しかしながら、入学後に科目の見直し等が行われ、実際に開講されている科目と規程に示されている科目が異なることがあります。変更されている点は、以下に掲げる案内に解説しています。

履修の計画を立てるときは、入学年次の「生活環境学部規程」と本冊子『専門教育ガイド』を熟読し、変更点に十分留意してください。

また不明な点は、必ず学科・コースの教務担当の教員または学務課生活環境学部係に確認してください。

1. 専門教育科目以外の履修について

基礎科目群（外国語科目・保健体育科目・情報処理科目）、教養科目群、単位互換制度による科目、キャリアプラン科目群、教職科目群、資格関連科目群の履修方法は『全学教育ガイド』に解説していますので、そちらを参照してください。

【放送大学教育協力型単位互換科目】

これは放送大学の授業科目を本学の教育課程の中で開講するもので、全学生が無料で受講することができます。履修単位は卒業に必要な単位とすることができます。ただし、教養教育科目または専門教育科目の単位にはなりません。また、履修登録単位の上限に含まれません。なお、この科目の受講者を対象に、様々なアンケート調査が行われます。「放送大学教育協力型単位互換科目」の詳細については、『全学教育ガイド』の「IV 単位互換制度 1 放送大学教育協力型単位互換科目について」を参照してください。

【奈良県大学連合における単位互換について】

平成20年度より、本学は奈良県内大学間単位互換協定に加盟し、県内の7大学（帝塚山大学・天理大学・奈良大学・奈良教育大学・奈良県立大学・奈良県立医科大学・奈良学園大学）の指定された科目を履修できるようになりました。履修単位は卒業に必要な単位とすることができます。ただし、教養教育科目または専門教育科目の単位にはなりません。また、履修登録単位の上限に含まれます。なお、この制度は2年次生以上を対象とするので、令和7年度入学生は、令和8年度から利用できます。詳細については、『全学教育ガイド』の「IV 単位互換制度 2 奈良県大学連合における単位互換について」を参照してください。

2. 専門教育科目の履修

生活環境学部の卒業要件単位の詳細は、次ページ以降のとおりになっています。

入学年度により、必修の単位数が異なりますので、よく確認してください。

なお、必修区分の詳細は後述の「13. 生活環境学部専門教育科目一覧」に詳述しています。

こちらにも参照のうえ、履修計画を立ててください。

【令和7年度以降入学生】

授 業 科 目	食物栄養学 学 科	心身健康学 学 科		住環境学 学 科	文化情報学科		備 考	
		生活健康学 コース / 臨床心理学 コース	スポーツ 健康科学 コース		生活文化学 コース	生活情報 通信科学 コース		
基礎科目群 教養教育科目	外国語科目	8 ----- 4	8 ----- 4	8 ----- 4	12	8 ----- 4	8 ----- 4	詳細な履修方法については、『全学教育ガイド』を参照
	保健体育科目(必修)	2	2	2	2	2	2	
	情報処理科目	—	—	—	—	—	—	
	合 計 【注1】	14	14	14	14	14	14	
	教養科目群(※)	16	16	16	16	20	16	
	計	30	30	30	30	34	30	
専門教育科目	学部共通科目(必修)	—	2	2	—	2	2	本章の8節および11節を参照
	(選択必修)	—	2	2	—	—	—	
	学部共通科目(必修)	—	6	6	—	6	6	
	(選択必修)	—	—	—	—	22	22	
	学科専門基盤科目(必修)	—	—	—	2	—	—	
	(選択必修)	—	30	30	—	—	—	
	以上、計(必修)	—	8	8	2	8	8	
	(選択必修)	6	32	32	4	22	22	
	専・コース専門科目(必修)	32	20	20	54	6	20	
	(選択必修)	24	6	8	16	24	16	
卒業研究(必修)	12	12	12	12	12	10		
専門教育科目総計	74	78	80	88	72	76		
卒業に必要な残りの単位数	20	16	14	6	18	18		
合 計	124	124	124	124	124	124		

(※) 連携開設科目については8単位まで(心身健康学科生活健康学コースにおいては16単位まで)教養科目群の単位を含めることができる。教養科目群の単位としない連携開設科目の単位は文化情報学科生活情報通信科学コースを除き、各学科・コースの卒業要件単位の算入する。

【注1】教養教育科目の基礎科目群から取得する必要単位数の合計を意味する。この合計に足りない残りの単位は、基礎科目群の中から取得すること。必要単位数を超えて修得した基礎科目群の単位は、教養科目群の単位に含めることができる。

【注2】「卒業に必要な残りの単位数」には以下の科目を除く全ての開講科目が含まれる。

- ① 生活環境学部規程別表Ⅲの1に定める「キャリアプラン科目群」(ただし、「現代社会と職業」は卒業の要件となる単位数に含めることができる。)
- ② 生活環境学部規程別表Ⅲの2に定める「教職科目群」全て
- ③ 生活環境学部規程別表Ⅲの3に定める「資格関連科目群」全て
- ④ 生活文化学科専門科目の「インターンシップ実習(生活文化学)」

【注3】住環境学科専門科目の「住環境学学外実習(インターンシップ)Ⅰ」「同Ⅱ」について、卒業要件単位に含むことができるのは2単位まで。

【令和4年度～6年度入学生】

授 業 科 目		食物栄養学 科	心身健康学 科		住環境学 科	文化情報学科		備 考	
			生活健康学 コース / 臨床心理学 コース	スポーツ 健康学 コース		生活文化学 コース	生活情報 通信科学 コース		
教養教育科目	基礎科目群	外国語科目	8	8	8	12	8	8	詳細な履修方法については、『全学教育ガイド』を参照
		保健体育科目(必修)	4	4	4	2	4	4	
	情報処理科目	—	—	—	—	—	—		
	合 計【注1】	14	14	14	14	14	14		
	教養科目群(※)	16	16	16	16	20	16		
	計	30	30	30	30	34	30		
専門教育科目	学部共通科目(必修)	—	2	2	—	2	2	本章の8節および11節を参照	
	(選択必修)	—	2	2	—	—	—		
	学部共通科目(必修)	—	6	6	—	6	6		
	(選択必修)	—	—	—	—	22	22		
	学科専門基盤科目(必修)	—	—	—	2	—	—		
	(選択必修)	—	30	30	—	—	—		
	以上、計(必修)	—	8	8	2	8	8		
	(選択必修)	6	32	32	4	22	22		
	学科・コース専門教育科目(必修)	32	20	20	54	6	20		
	(選択必修)	24	6	8	16	24	16		
卒業研究(必修)	12	12	12	12	12	10			
専門教育科目総計	74	78	80	88	72	76			
卒業に必要な残りの単位数		20	16	14	6	18	18		
合 計		124	124	124	124	124	124		

(※) 教養科目群には、高年次(3・4年)に履修することを別に指定する教養科目1単位以上を含むこと。連携開設科目については8単位まで(心身健康学科生活健康学コースにおいては16単位まで)教養科目群の単位を含めることができる。教養科目群の単位としない連携開設科目の単位は文化情報学科生活情報通信科学コースを除き、各学科・コースの卒業要件単位に算入する。

【注1】 教養教育科目の基礎科目群から取得する必要単位数の合計を意味する。この合計に足りない残りの単位は、基礎科目群の中から取得すること。必要単位数を超えて修得した基礎科目群の単位は、教養科目群の単位に含めることができる。

【注2】 「卒業に必要な残りの単位数」には以下の科目を除く全ての開講科目が含まれる。

- ① 生活環境学部規程別表Ⅲの1に定める「キャリアプラン科目群」(ただし、「現代社会と職業」は卒業の要件となる単位数に含めることができる。)
- ② 生活環境学部規程別表Ⅲの2に定める「教職科目群」全て
- ③ 生活環境学部規程別表Ⅲの3に定める「資格関連科目群」全て
- ④ 生活文化学科専門科目の「インターンシップ実習(生活文化学)」

【注3】 住環境学科専門科目の「住環境学学外実習(インターンシップ)Ⅰ」「同Ⅱ」について、卒業要件単位に含むことができるのは2単位まで。

【令和3年度入学生】

授 業 科 目		食物栄養学 学 科	心身健康学 学 科	情報衣環境学科		住環境学 学 科	生活文化学 学 科	備 考
				衣環境学 コ ー ス	生活情報 通 信 科 学 コ ー ス			
教養教育科目	基礎科目群							
	外国語科目	8 4	8 4	8 4	8 4	12	8 4	詳細な履修方法については、『全学教育ガイド』を参照
	保健体育科目(必修)	2	2	2	2	2	2	
	情報処理科目	—	—	—	—	—	—	
	合 計【注1】	14	14	14	14	14	14	
	教養科目群(※)	16	16	16	16	20	20	
計	30	30	30	30	34	34		
専門教育科目	学部共通科目(必修)	—	2	2	2	—	—	本章の8節および11節を参照
	(選択必修)	—	2	—	—	—	—	
	学科共通科目(必修)	—	6	6	8	—	—	
	(選択必修)	—	—	12	10	—	—	
	学科専門基盤科目(必修)	—	—	—	—	2	—	
	(選択必修)	—	30	—	—	—	—	
	以上、計(必修)	—	8	8	10	2	—	
	(選択必修)	6	32	12	10	4	4	
	学科・コース専門教育科目(必修)	32	20	20	20	55	6	
	(選択必修)	24	8	22	30	17	46	
卒業研究(必修)	12	12	12	10	12	12		
専門教育科目総計	74	80	74	80	90	68		
卒業に必要な残りの単位数		20	14	20	14	6	22	【注2】【注3】を参照
合 計		124	124	124	124	130	124	

※教養科目群には、高年次(3, 4年)に履修することを別に指定する教養科目1単位以上を含むこと。

【注1】教養教育科目の基礎科目群から取得する必要単位数の合計を意味する。この合計に足りない残りの単位は、基礎科目群の中から取得すること。必要単位数を超えて修得した基礎科目群の単位は、教養科目群の単位に含めることができる。

【注2】「卒業に必要な残りの単位数」には以下の科目を除く全ての開講科目が含まれる。

- ① 生活環境学部規程別表Ⅲの1に定める「キャリアプラン科目群」(ただし、「現代社会と職業」は卒業の要件となる単位数に含めることができる。)
- ② 生活環境学部規程別表Ⅲの2に定める「教職科目群」全て
- ③ 生活環境学部規程別表Ⅲの3に定める「資格関連科目群」全て
- ④ 生活文化学科専門科目の「インターンシップ実習(生活文化学)」

【注3】住環境学科専門科目の「住環境学学外実習(インターンシップ)Ⅰ」「同Ⅱ」について、卒業要件単位に含むことができるのは2単位まで。

【平成31年度～令和2年度入学生】

授 業 科 目		食物栄養学 科	心身健康学 科	情報環境学科		住環境学 科	生活文化学 科	備 考	
				環境学 コース	生活情報 通 信 科 ス				
教養教育科目	基礎科目群	外国語科目	8 4	8 4	8 4	8 4	12	8 4	詳細な履修方法については、『全学教育ガイド』を参照
		保健体育科目(必修)	2	2	2	2	2	2	
	情報処理科目	—	—	—	—	—	—	—	
	合 計【注1】	14	14	14	14	14	14	14	
	教養科目群(※)	16	16	16	16	20	20	20	
	計	30	30	30	30	34	34	34	
専門教育科目	学部共通科目(必修)	—	2	2	2	—	—	本章の8節および11節を参照	
	(選択必修)	—	2	—	—	—	—		
	学科共通科目(必修)	—	6	6	8	—	—		
	(選択必修)	—	—	12	10	—	—		
	学科専門基盤科目(必修)	—	—	—	—	2	—		
	(選択必修)	—	30	—	—	—	—		
	以上、計(必修)	—	8	8	10	2	—		
	(選択必修)	6	32	12	10	4	4		
	学科・コース専門教育科目(必修)	32	20	22	20	55	6		
	(選択必修)	24	8	24	30	17	46		
卒業研究(必修)	12	12	12	10	12	12	12		
専門教育科目総計	74	80	78	80	90	68	68		
卒業に必要な残りの単位数		20	14	16	14	6	22	【注2】【注3】を参照	
合 計		124	124	124	124	130	124		

※教養科目群には、高年次(3, 4年)に履修することを別に指定する教養科目1単位以上を含むこと。

【注1】教養教育科目の基礎科目群から取得する必要単位数の合計を意味する。この合計に足りない残りの単位は、基礎科目群の中から取得すること。必要単位数を超えて修得した基礎科目群の単位は、教養科目群の単位に含めることができる。

【注2】「卒業に必要な残りの単位数」には以下の科目を除く全ての開講科目が含まれる。

- ① 生活環境学部規程別表Ⅲの1に定める「キャリアプラン科目群」(ただし、「現代社会と職業」は卒業の要件となる単位数に含めることができる。)
- ② 生活環境学部規程別表Ⅲの2に定める「教職科目群」全て
- ③ 生活環境学部規程別表Ⅲの3に定める「資格関連科目群」全て
- ④ 生活文化学科専門科目の「インターンシップ実習(生活文化学)」

【注3】住環境学科専門科目の「住環境学学外実習(インターンシップ)Ⅰ」「同Ⅱ」について、卒業要件単位に含むことができるのは2単位まで。

【平成30年度入学生】

授 業 科 目		食物栄養学	心身健康学	情報環境学科		住環境学	生活文化学	備 考
				衣環境学コース	生活情報学コース			
教養教育科目	基礎科目群	8 4	8 4	8 4	8 4	12	8 4	詳細な履修方法については、『全学教育ガイド』を参照
	外国語科目							
	保健体育科目(必修)	2	2	2	2	2	2	
	情報処理科目	—	—	—	—	—	—	
	合 計【注1】	14	14	14	14	14	14	
	教 養 科 目 群	16	16	16	16	20	20	
計	30	30	30	30	34	34		
専門教育科目	学部共通科目(必修)	—	2	2	2	—	—	本章の8節および11節を参照
	(選択必修)	—	2	—	—	—	—	
	学科共通科目(必修)	—	6	8	10	—	—	
	(選択必修)	—	—	10	10	—	—	
	学科専門基盤科目(必修)	—	—	—	—	2	—	
	(選択必修)	—	30	—	—	—	—	
	以上、計(必修)	—	8	10	12	2	—	
	(選択必修)	6	32	10	10	4	4	
	学科・コース専門教育科目(必修)	32	20	24	20	55	6	
	(選択必修)	24	8	18	28	17	46	
卒業研究(必修)	12	12	12	10	12	12		
専門教育科目総計	74	80	74	80	90	68		
卒業に必要な残りの単位数		20	14	20	14	6	22	【注2】【注3】を参照
合 計		124	124	124	124	130	124	

【注1】教養教育科目の基礎科目群から取得する必要単位数の合計を意味する。この合計に足りない残りの単位は、基礎科目群の中から取得すること。必要単位数を超えて修得した基礎科目群の単位は、教養科目群の単位に含めることができる。

【注2】「卒業に必要な残りの単位数」には以下の科目を除く全ての開講科目が含まれる。

- ① 生活環境学部規程別表Ⅲの1に定める「キャリアプラン科目群」(ただし、「現代社会と職業」は卒業の要件となる単位数に含めることができる。)
- ② 生活環境学部規程別表Ⅲの2に定める「教職科目群」全て
- ③ 生活環境学部規程別表Ⅲの3に定める「資格関連科目群」全て
- ④ 生活文化学科専門科目の「インターンシップ実習(生活文化学)」

【注3】住環境学科専門科目の「住環境学学外実習(インターンシップ)Ⅰ」「同Ⅱ」について、卒業要件単位に含むことができるのは2単位まで。

3. 1年間に履修登録できる単位数の上限

生活環境学部では、一年間に履修科目として登録できる単位の上限を、**原則48単位**と定めています。**なお、履修登録単位数の上限に関する規程は、編入学生及び転学科・転コースの学生には適用されません。また、入学前の既修得単位、学外での学修による単位認定等の認定単位は履修登録の上限単位には含まれません。**

(1) 上限の対象となる授業科目

卒業要件単位として履修する授業科目です。卒業要件単位とは、卒業に必要な124単位（令和3年度以前入学の住環境学科学生は130単位）に含めることができるものです。以下の科目が卒業要件単位として履修する授業科目にあたります。

- ① 教養教育科目（基礎科目群・教養科目群（連携開設科目を含む））
- ② 専門教育科目（他学部専門教育科目を含む）
- ③ キャリア教育科目の一部（「現代社会と職業」）
- ④ 単位互換制度による科目

放送大学教育協力型単位互換科目の授業科目（当科目は上限の対象となりません）

奈良県大学連合における単位互換による科目

(2) 上限の対象とならない授業科目

- ① キャリア教育科目（「現代社会と職業」を除く）

キャリアプラン科目群、教職科目群（教員免許状取得に関する科目）

資格関連科目群（学芸員、学校図書館司書教諭に関する科目）

- ② 卒業要件単位となる授業科目であっても、下記のものは**上限の対象外となります。**

・授業科目名が「実験」である科目

・授業科目名が「実習」である科目

（※情報衣環境学科衣環境学コース専門教育科目「衣環境デッサントレーニング」、住環境学科専門教育科目「住環境デザイン基礎」も上限の対象外です）

・授業科目名が「演習」である科目

（※心身健康学科コース専門教育科目（臨床心理学コース）「心理検査法（心理的アセスメント）」「心理学統計法」、生活文化学科／文化情報学科生活文化学コース専門教育科目「生活文化学の方法」、情報衣環境学科生活情報通信科学コース専門教育科目「プログラミング言語2」「情報処理技術1」「情報処理技術2」、文化情報学科生活情報通信科学コース専門教育科目「プログラミング言語II」「情報処理技術I」「情報処理技術II」も上限の対象外です。但し、生活文化学科／文化情報学科生活文化学コースの演習のうち、必修のものについては上限単位数に含まれます。）

・授業科目名が「卒業研究」である科目

・集中講義として実施される開講科目

・放送大学教育協力型単位互換科目の授業科目

4. 所定の単位を優れた成績で修得した者の履修登録単位数の上限緩和

以下の条件を全て満たす学生は、次年度に履修登録の上限が緩和される（56単位まで登録できる）ことがあります。

- ① 1年間に取得した卒業要件単位となる科目の単位数が40単位以上。
- ② 100点満点法による80点以上の科目が取得した卒業要件単位となる科目の85%以上。
- ③ 取得した卒業要件単位となる科目の平均点が85点以上。

該当する学生は、学務課生活環境学部係を通じて令和7年4月7日（月）までに生活環境学部長に申請してください。

5. 3年以上4年未満での早期卒業

生活環境学部にて3年以上在学し、卒業の要件として生活環境学部が定める単位を特に優秀な成績で修得したものと認められた学生は、4年次前期で卒業（早期卒業）が認められます。早期卒業を希望する学生は、学務課生活環境学部係を通じて2年次終了時に（令和7年4月7日（月）までに）生活環境学部長に申請してください。申請後の流れ及び成績優秀の基準は、次のとおりです。なお、この取扱いは、編入学生及び転学科・転コースの学生には適用されません。

- ① 申請に基づき2年次終了時までの卒業要件の単位取得状況及び成績等に基づき、早期卒業対象学生としての適格性の審査を行います。
- ② ①の審査で早期卒業対象学生として認定を受けた場合、学部において別に定める履修科目の履修対象年次の制限は適用されません。
- ③ 3年次終了時までに、1年次から3年次までの卒業要件の単位取得状況及び成績等に基づき、引き続き早期卒業対象学生としての適格性の審査を行います。
- ④ ③の審査で有資格となった学生に、4年次前期終了時に卒業の判定を行います。

卒業するためには、生活環境学部が定める卒業要件の単位を取得し、かつ成績優秀でなければなりません。

- ⑤ ④の成績優秀者であるかの認定は卒業判定を行う期の前年度後期までの成績により行います。
- ⑥ 成績優秀の基準は、以下のとおりです。全ての条件を満たす必要があります。
 - ・ 各年度において1年間に取得した卒業要件単位となる科目の単位数が平均40単位以上。
 - ・ 100点満点法による80点以上の科目が取得した卒業要件単位となる科目の85%以上。
 - ・ 取得した卒業要件単位となる科目の平均点が85点以上。

6. 学期末試験と成績

(1) 学期末試験は、原則として各学期末、補講期間を含む授業期間中に行います。ただし、試験の実施時期や成績評価の方法は科目ごとに異なるので、各科目のWEBシラバスをよく読み、授業中の指示および掲示に注意してください。

- (2) 病気や事故など、やむを得ない事情によって試験を受けられない場合は、「特別の方法による成績評価」の適用を申請することができます。生活環境学部教授会において、やむを得ない事情であり、なおかつ将来の学修計画にはなほだしく支障をきたすと認められた場合は、特別の方法により成績評価が行われます。該当する事態が生じたときには速やかに学務課生活環境学部係に連絡してください。
- (3) 学期ごとの成績は翌学期の始めに行われるガイダンス以降に各自でCampusmateで確認することができます。

7. 学外での学修に係る単位の認定

次の場合、学外で履修した単位が一定の範囲で本学での履修単位として認定されることがあります。いずれの場合も学務課生活環境学部係で事前に相談してください。

- ① 本学入学前に他の大学（短期大学を含む）に在籍していた場合
教授会で有益と認められた場合、既修得単位が本学における単位として認定されることがあります。入学後速やかに（令和7年4月7日（月）までに）申請しなければなりません。
- ② 本学と交流協定を締結している外国の大学に、協定に則って留学した場合
教授会で有益と認められた場合、先方の大学で履修した単位について、本学における選択科目の単位として認定されることがあります。帰国後速やかに申請しなければなりません。
- ③ TOEIC、TOEFL、他各種外国語検定で一定の基準を満たした場合
審査の上、各外国語の単位として認定され、外国語科目として必要な8単位もしくは4単位の一部に充当できます。詳細は『全学教育ガイド』の外国語科目の項を参照してください。

8. 6年一貫教育プログラム

(1) 趣旨

6年一貫教育プログラムとは、学部と大学院博士前期課程の6年間（3年次編入生については4年間）を切れ目なく柔軟に活用し、通常の課程では難しい長期的な研究や、留学・インターンシップなどにチャレンジするプログラムです。広い視野をもち主体的に行動できる力を鍛え、グローバル社会で活躍しようという意欲をもつ女性を育むことを目的として、平成29年度入学生から導入されました。

学部生の中に大学院の科目を先行履修でき、長期留学やインターンシップ、長期にわたるリサーチなどが卒業・修了単位として認められるなど、自由度の高い学修を設計することを可能にします。

なお、進学先は、本学大学院人間文化総合科学研究科生活環境科学系の専攻に限ります。また、学部の卒業時期は、4年次後期終了とします。

(2) 実施要項

① 募集時期

3年次前期及び3年次後期のうち各学科・コースが定める時期。

② 応募資格

各学科・コースが定める要件を満たしていること。

③ 選抜方法

書類審査と面接によります。なお、大学院人間文化総合科学研究科への進学は、推薦入試による選考が行われます。検定料・入学金が必要となります。

④ 大学院科目先行履修

プログラム生は、4年次から先行履修用の専門科目として指定された大学院科目を履修することができます。特別な費用はかかりません。

- ・年間の履修上限以外に、大学院科目を10単位まで履修・修得することができます。
- ・他コースの先取り履修科目を履修することも可能です（指定科目に限ります。担当教員の許可が必要です）。
- ・修得した単位は博士前期課程進学後に認定され、修了要件単位として認められます。

⑤ プログラム専用科目「特別学外研究」

学部段階から修士論文までを見通して、自らの学修を設計するためのプログラム生専用の大学院科目で、履修は任意です。

詳細はガイダンス時に配布する資料をよく読んでください。

9. 博士前期課程授業科目の先行履修制度

大学院進学を視野に入れた学生に対し、博士前期課程授業科目の一部を、4単位を上限として授業料等の費用負担なく先行履修できる制度を、新たに設けています。（6年一貫教育プログラム生については10単位を上限として履修可能）

先行履修を認めるか否かについては、学科・コース内で成績上位半分以上の優秀な成績を修めていることを条件とします。成績上位半分以上であるか否かの判断基準であるGPA値については、別途掲示しますので注意しておいてください。先行履修の可否の判定については、3回生の後期終了時に判定を行います。

10. 学科・コース関係専門教育科目履修モデル等の案内

【食物栄養学科】

『CAMPUS LIFE』の「生活環境学部規程」や本年度に配布された『専門教育ガイド』、開講科目概要（WEB版）、WEBシラバスを熟読し、それらに従い履修してください。授業時間割のモデルを提供するので参考にしてください。

全学共通科目については、食物栄養学科として特に指定する事項はありませんが、学年の進行に伴って専門科目が増加し、4年次では主として卒業研究を行うので、なるべく早く履修してください。

専門教育科目については、「生活環境学部規程」第5条及び別表Ⅱ（『CAMPUS LIFE』参照）に規定されている条件を充たすように履修してください。特に必修科目及び学部共通・学科専門基礎科目の選択必修科目に注意が必要です。

教員免許状（家庭）及び栄養教諭免許状の取得を希望する人は、教職に関する科目（「生活環境学部規程」別表Ⅲの2）と教科に関する科目（家庭）もしくは栄養に係る教育に関する科目（栄養教諭）も合わせて履修するとともに、日本国憲法と情報処理入門Ⅰを履修してください。栄養教諭一種免許状の取得には、栄養士免許及び管理栄養士国家試験受験資格の取得も必要です。

栄養士免許及び管理栄養士国家試験受験資格の取得を希望する人は、それぞれ栄養士養成課程に関する科目（「生活環境学部規程」別表Ⅳ）及び管理栄養士養成課程に関する科目（「生活環境学部規程」別表Ⅴ）に従って履修してください。食品衛生監視員・食品衛生管理者任用資格の取得を希望する人は、食品衛生管理者養成課程及び食品衛生監視員養成課程に関する科目（「生活環境学部規程」別表Ⅵ）に従って履修してください。

なお、1～2回生担当の科目の単位を修得していない場合、3回生担当の実験実習科目の履修を認めないことがあります。また、臨地実習科目については、基礎となる講義および実習の単位を修得しないと履修を認めないことがあります。栄養士免許及び管理栄養士国家試験受験資格の取得を希望する人は注意してください。

食物栄養学科専門科目履修モデル

	管理栄養士養成課程										その他の専門科目	
	専門基礎分野			専門分野								
	社会・環境と健康	人体の構造と機能・疾病の成り立ち	食と健康	基礎栄養学	応用栄養学	栄養教育論	臨床栄養学	公衆栄養学	給食経営管理学的	総合演習・臨床実習	基礎分野・応用分野・卒業研究	栄養教諭
1年次前期	環境と健康	生化学Ⅰ☆★	調理学実習								食物科学概論 食品加工学 有機化学Ⅰ☆★ 基礎化学演習 基礎生物学演習	
1年次後期	生活福祉論 食糧経済学	生化学Ⅱ 医学概論	応用調理学実習 食品化学概論☆★									
2年次前期	公衆衛生学★	微生物学☆★ 細胞生理学	食品微生物学☆★ 食品化学各論☆★	栄養生化学☆★ 基礎栄養学実験☆★	応用栄養学Ⅰ☆★	栄養教育論Ⅰ		公衆栄養学Ⅰ				栄養教諭論
2年次後期		病態内科学 生体安全学☆★	食品衛生学☆★ 調理科学		応用栄養学Ⅰ	栄養教育論Ⅱ		公衆栄養学Ⅱ			基礎栄養学特別講義Ⅰ*	食に関する指導論
3年次前期		生体安全学実験☆★	食品化学実験☆★		応用栄養学Ⅱ 応用栄養学実習	栄養教育論Ⅲ 栄養教育論実習	臨床栄養学総論 臨床栄養学Ⅰ 臨床栄養学Ⅱ 臨床栄養学Ⅲ 臨床栄養学実習		給食経営管理学的Ⅰ 給食経営管理学的Ⅱ 給食経営管理学的実習	公衆栄養学臨床実習	食品加工学実習	栄養教育実習 事前・事後指導
3年次後期		分子病態学 病態生理・生化学実験☆	食品微生物学実験☆★							臨床栄養学臨床実習Ⅰ・Ⅱ 給食経営管理学的演習	臨床栄養学研究室☆ 基礎栄養学特別講義Ⅱ*	
4年次前期										栄養学総合演習	卒業研究Ⅰ☆	
4年次後期											卒業研究Ⅱ☆	教職実践演習

一部、学部共通科目および食物栄養学科教員による教職科目を含む。一部の科目について開講期を変更することや通年開講とすることがある。

☆食物栄養学科卒業必修科目

★食品衛生監視員・食品衛生管理者任用資格必修科目

赤字：実験・実習科目

*隔年開講科目（2～3年次に履修）

栄養教諭免許取得のためにはこの表に示す科目のほか、教職科目等教職に必要な科目の履修も必要

教員免許（家庭）取得のためにはこの表に示す科目のほか、教科に関する専門科目および教職科目等教職に必要な科目の履修も必要

【心身健康学科】

全体的な注意：

『CAMPUS LIFE』の「生活環境学部規程」や本年度に配布された『全学教育ガイド』『専門教育ガイド』、開講科目概要（WEB版）、WEBシラバスを熟読し、ガイダンス時に別に配布する時間割モデルを参考にして履修してください。

学科の科目履修上の注意：

1～2年次のうちに、出来るだけ教養教育科目や学部共通科目、教職科目を履修するようにしてください。3年次にコース分けがありますが、他コースの科目も履修できます。4年次では卒業研究を行います。卒業研究は4年次からスタートしますが、ゼミ所属は3年次後期に行います。

専門科目の一部は、集中講義で行われますので、開講時期など学務課の掲示板に掲示される情報に注意してください。関連する科目は多岐にわたるので、各人の関心や必要に応じて学科外の科目も履修するようにしてください。学部共通科目や他学科の専門科目等で履修することが望ましい科目は、ガイダンス時に紹介、説明します。

教員免許状取得に関する注意：

教員免許状取得を希望する学生は、「家庭」、「保健体育」を取得できますので、『全学教育ガイド』の「V キャリア教育科目の履修」を熟読して単位の不足がないように注意してください。

心身健康学科専門科目履修モデル〔令和6年度以前入学生〕

学部共通科目	学科必修科目	学科専門基礎科目群			コース専門教育科目 (生活健康学コース)		コース専門教育科目 (スポーツ健康科学コース)		コース専門教育科目 (臨床心理学コース)		卒業論文関連				
		生活健康学(H)	臨床心理学(P)	スポーツ科学(S)	必修講義科目 実験・実習・演習	教員関係科目	必修講義科目 実験・実習・演習	教員関係科目	必修講義科目 実験・実習・演習	公認心理師科目					
1年次前期	心身健康学概論Ⅰ 心身健康学概論Ⅱ(心理学概論)	☆人体生理学(◎被服学実習Ⅰ)		スポーツ政策論 スポーツ論-P		◎食物学概論 ◎任務環境学概論 ◎調理学実習									
1年次後期	生活環境学 児童学	生活健康学概論-Ⅱ (◎被服学実習Ⅱ) (◎衣環境学概論)		スポーツパフォーマンスメカニクス スポーツ生理学-H スポーツ生化学											
2年次前期	ジェンダー文化論	生活内科学(人体の構造と機能及人体解剖学) 心理学(◎家族関係論-P)	家族心理学(社会・家族心理) 司法・犯罪心理学 発達心理学(◎家族関係論-S)	運動医学-H 衛生・公衆衛生学-H	人体生理学実習	◎健康論 ◎育児学 ◎衣環境学実験	スポーツ健康科学入門演習Ⅰ	☆シーズンズ実習・夏期実習 ☆ワーク実習 ☆武道実習 ☆個人スポーツ実習B							
2年次後期		脳機能形態学(◎生活経営学)	教育臨床心理学(◎発達臨床心理学) 発達臨床心理学 進心心理学 福祉心理学 組織心理学	身体表現学	生活健康学基礎実験 生活健康学実習 栄養学実験	◎生活界面化学	スポーツ健康科学入門演習Ⅱ スポーツ健康科学演習A 地域連携運動演習	★体育・スポーツ史 ★学校保健現 ★身体表現 ★個人スポーツ実習A ★個人スポーツ実習A/B							
3年次前期					自律神経科学 人間行動生理学 行動神経内分 泌学 ◎環境人間学 ◎衣環境管理 学 ◎被服生理学		☆身体運動制御論 ☆スポーツ精神生理学 ☆身体コミュニケーション論	スポーツ健康科学演習B	学校臨床心理学 臨床心理学 心理検査法(心理的アセスメント)	心理演習	公認心理師の職務 の職業 精神疾患と その治療	心身健康学 研究演習Ⅰ			
3年次後期							☆スリープ法 学(後期5年度入 学生は☆体育・ スポーツ史) ☆体育・スポ ーツ社会学 ☆スポーツ心 理学		心理療法実 験(心理学的 支援法) 感情・人格 心理学 心理学研究 法 臨床心理学 実習B)	心理学実験 (心理学実 験) 臨床心理学 実習B)	心理学研究 法・生理 心理学 健康・医療 心理学 関係学	心身健康学 研究演習Ⅱ			
4年次前期												心身健康学 卒業研究Ⅰ			
4年次後期												心身健康学 卒業研究Ⅱ			
	4単位	必修6単位	8単位	8単位	8単位	必修12単位	選択必修6単位	家庭	必修12単位	選択必修8単位	保健体育	必修12単位	選択必修6単位	公認心理師	必修20単位
	(注1)		(注2)			(注3)			(注4)			(注5)			

「公認心理師」受験資格取得に関する教科に関する注意：

「公認心理師」は、保健医療・福祉・教育・産業・司法などの領域で、他職種と協働しながら心理相談や心理教育など心理に関する支援を行う専門家の国家資格です。「公認心理師」受験資格の取得を希望する人は、下記の表に掲げる科目の単位を取得してください。

科目名称	履修区分	履修方法
公認心理師の職責	必修	
心身健康学概論Ⅱ（心理学概論）	選択	2科目のうち 1科目を選択必修
（文）心理学概論		
臨床心理学概論	必修	
心理学研究法	必修	
心理学統計法	選択	2科目のうち 1科目を選択必修
（文）心理学統計法Ⅰ		
心理学実験演習（心理学実験）	選択	2科目のうち 1科目を選択必修
（文）心理学実験		
（文）知覚・認知心理学	必修	
（文）学習・言語心理学	必修	
感情・人格心理学	選択	2科目のうち 1科目を選択必修
（文）感情・人格心理学		
神経・生理心理学	必修	
家族心理学（社会・集団・家族心理学）	選択	2科目のうち 1科目を選択必修
（文）社会・集団・家族心理学		
発達臨床心理学（発達心理学）	選択	2科目のうち 1科目を選択必修
（文）発達心理学		
障害者・障害児心理学	必修	
心理検査法（心理的アセスメント）	必修	
心理療法学（心理学的支援法）	必修	
健康・医療心理学	必修	
福祉心理学	必修	
教育臨床心理学（教育・学校心理学）	選択	2科目のうち 1科目を選択必修
（文）教育・学校心理学		
司法・犯罪心理学	必修	
産業・組織心理学	必修	
生活内科学（人体の構造と機能及び疾病）	必修	
精神疾患とその治療	必修	
関係行政論	必修	
心理演習	必修	
（文）心理実習A 臨床心理学実習（心理実習B）	必修	心理実習A・Bそれぞれ で40時間以上、2科目あ わせて80時間以上の実 習を行う

※ 上記の科目のうち、「必修」とあるものはすべて必修、「選択」とあるものは2科目あるうちから1科目を選択必修です。「(文)」とあるのは文学部の開講科目です。

※ 公認心理師の受験資格を得るには、必要な科目を在学中に履修し、さらに大学院修士課程修了（2年間）もしくは定められた施設での実務経験（2年以上）が必要です。

※ 詳細は担当教員（臨床心理学コース：梅垣）に確認してください。

【住環境学科】

- (1) 住環境学は、身近なインテリア・住宅から、より広い地域・都市へと広がるさまざまな空間を対象として、そこでの広範囲な住生活ニーズを充足しうる住環境を構想・計画・管理・改善しようとする学問です。そのためには広範な基礎知識をバランスよく習得することが望まれます。
- (2) 科目の履修にあたっては、『CAMPUS LIFE』の「生活環境学部規程」、『専門教育ガイド』、開講科目概要（WEB版）、WEBシラバスをよく読んで履修してください。学科の履修モデルを提供するので参考にしてください。なお、卒業要件単位については、「2. 専門教育科目の履修」のところを示された、授業科目群ごとの必要単位を修得する必要があります。
- (3) 学年進行に伴い専門科目が増えるので、全学共通科目（外国語科目、保健体育科目を含む）、学部共通科目の卒業に必要な単位は早めに履修しておくことが望まれます。また、上級学年においても各人の関心や研究計画の必要にあわせて教養教育科目や他学部・学科の専門科目を履修することが可能です（これらの取得単位は卒業要件単位に含めることができます）。
- (4) 建築生産（令和4年度以降入学者対象、令和3年度以前入学者は建築生産デザイン学演習、令和8年度開講予定）と建築施工学（令和7年度開講）、建築構造計画学（令和8年度開講予定）と木造建築構造学（令和7年度開講）とは、各々ペアで隔年開講の科目です。履修を希望する学生は計画的に履修してください。
- (5) 卒業研究は4年次からスタートしますが、ゼミ所属は3年次後期に行います。住環境学基礎実習は配属されたゼミで実施するため、卒業研究の履修を希望する前年度には、住環境学基礎実習を履修してください。
- (6) 住環境学学外実習Ⅰ・Ⅱ（インターンシップ）および住環境学学外演習（合宿演習）は、住環境学科3年次以上を受講対象とします。実施の詳細については後日掲示により周知する予定です。

住環境学科専門科目履修モデル

	計画系	設計系	環境系	構造・管理系	実験・実習	総合・その他
1 年次前期	☆住生活学	☆空間表現演習 (令和4年度以降入学者)		☆建築一般構造学		*住環境学概論
1 年次後期	☆建築・住居史 ☆建築計画学 (令和2年度以降入学者対象) ☆空間デザイン学 (令和2年度以降入学者対象)	☆住環境造形実習		☆建築材料学		☆住環境学の技術者倫理 ☆空間計画のための物理環境科学演習
2 年次前期	★建築・住宅論 ★住居デザイン学 (令和2年度以降入学者対象)	☆設計演習Ⅰ	☆建築装備学Ⅰ	☆住居管理学		
2 年次後期	☆緑地環境計画論 ★地域居住学	☆設計演習Ⅱ ☆CAD演習 (令和3年度以前入学者) ★CAD演習 (令和4年度以降入学者) ★住環境デザイン基礎 (令和3年度以前入学者)	☆建築環境学 ★建築装備学Ⅱ	(★木造建築構造学) (★建築構造計画学) (★建築施工学) (★建築生産デザイン学演習 (令和3年度以前入学者)) (★建築生産 (令和4年度以降入学者))	☆住居管理学実習Ⅰ	
3 年次前期	☆都市計画学 ☆生活空間解析学 (平成31年度以前入学者対象) ★生活空間計画学 (令和2年度以降入学者対象) ★ランドスケープ・デザイン論 ★住居デザイン学 (平成31年度以前入学者対象) ★測量学実習 (令和3年度以前入学者) ★インテリアデザイン ☆福祉住環境学 ☆住環境法規 (平成31年度以降入学者対象)	☆設計演習Ⅲ ★デジタルデザイン演習	☆建築設備学	☆建築構造力学・材料力学演習 ★住居管理学 (応用編)	☆住環境工学実習	★住環境学学外実習 (インターンシップ) ○住環境学学外演習 (合宿演習)
3 年次後期		★設計演習Ⅳ		(★木造建築構造学) (★建築構造計画学) (★建築施工学) (★建築生産デザイン学演習) (令和3年度以前入学者) (★建築生産 (令和4年度以降入学者))	★建築環境学実習 ★建築装備学実習 ★建築構造学実習 ★住居管理学実習Ⅱ	☆住環境学基礎実習 ★まちづくり演習A
4 年次前期		★設計演習Ⅴ		★不静定構造力学 ★不静定構造力学演習 ★建築振動論		☆卒業研究Ⅰ ★まちづくり演習B ☆卒業研究Ⅱ
4 年次後期						

一部、学部共通科目を含む。

☆専門必修 ★専門選択必修 ○専門選択 *学部共通科目 () 隔年開講科目 ◇卒業要件に含むことができるのは2単位まで

【文化情報学科 生活文化学コース】

文化情報学科は、入学時に2つの履修コース（生活文化学コース、生活情報通信科学コース）に分かれます。本コースでは、人間の生活にかかわる社会・文化的諸問題を、多角的・重層的に扱います。生活の中から問題を発見し、それに自ら取り組む力を養う教育を目指します。それに必要な探求心と広範な基礎知識を養い発展させるために、下記の事項に留意し、『CAMPUS LIFE』の「生活環境学部規程」及び本年度に配布された『全学教育ガイド』、『専門教育ガイド』、開講科目概要（WEB版）、WEBシラバス等の資料を参考に履修してください。

(1) 教養科目群

将来の研究への興味を養い、具体的な問題設定ができるようになるためにも、いろいろな科目をバランスよく履修することが望まれます。20単位以上必要です。

(2) 基礎科目群

基礎科目群は外国語12単位、保健体育科目2単位以上（合計14単位以上）修得してください。

- ① 外国語科目 「英語」「ドイツ語」「フランス語」の中から一つの外国語科目を8単位履修してください。

他の外国語については、「英語」「ドイツ語」「フランス語」「スペイン語」「中国語」「韓国語」「ロシア語」のうち、上記で選択しなかった外国語を1つ選び4単位を履修してください。科目の選択は自由ですが、読解力、表現力が豊かになるように積極的に履修してください。

※ 但し、外国人留学生在が日本語科目を修得した場合、4単位まで外国語科目の単位として認められます。

- ② 保健体育科目 2単位必修です。「健康運動実習」を履修してください。
- ③ 情報処理科目 学科としてとくに指定はありませんが、教員免許取得希望者は「情報処理入門Ⅰ」または「情報処理入門Ⅱ」を履修してください。

(3) 専門教育科目

- ① 1年次で「文化情報学概論」「生活文化学入門」「生活環境学原論」を履修してください。
- ② 2年次で「ジェンダー文化論」を履修してください。2年次では「ソーシャルリサーチ論」、「社会統計学」は選択必修科目ですが、なるべく履修するように努めてください。
- ③ 3年次で「経営データサイエンス」を履修してください。3年次の後期「生活文化学演習」は必修科目です。
- ④ 4年次には生活文化学卒業演習Ⅰ・Ⅱ、および卒業研究Ⅰ・Ⅱを履修し、卒業研究を行います。
- ⑤ 学科共通科目から選択必修科目として22単位取得する必要があります。
- ⑥ 教員免許取得を希望する学生は『全学教育ガイド』の「教職科目群」をよく読んで、1年次から計画的に履修していく必要があります。

- ⑦ 「インターンシップ実習（生活文化学）」は、3年次以上で履修できます。詳細については随時掲示してお知らせします。

(4) 履修モデル

本コースは、多様な学び方を可能にするよう履修科目選択の幅を大きく取っている点が特徴です。次表は4年間を通じた大卒のイメージです。

学 年	全学共通科目、学部共通科目、学科共通科目、 コース専門教育科目	卒業研究関連科目
1年次	教養教育科目とキャリア教育科目を主に履修する。 専門教育科目：1年次対象科目を履修しておくことが望ましい。文化情報学概論、生活文化学入門、生活環境学原論を履修する。 教員免許希望者は教職科目を履修する。	
2年次	ジェンダー文化論を履修する。ソーシャルリサーチ論、社会統計学は選択必修であるが、履修するよう努めること。 上記以外の専門教育科目は選択して履修する（自分の関心や卒論の希望テーマに沿って自由に科目を選択する）。 教員免許希望者は教職科目を履修する。	
3年次	経営データサイエンスを履修する。卒論の希望テーマに沿って専門教育科目を履修する（卒業研究の指導を希望する教員の演習・実習は必ず受講する。それ以外の専門教育科目は選択して履修する）。 インターンシップ実習（生活文化学）は卒業要件単位には含まない。	後期から、生活文化学演習を履修する（各教員のゼミに分かれて卒業研究の準備を始める）。
4年次	専門教育科目等の履修を継続する。	生活文化学卒業演習Ⅰ・Ⅱと卒業研究Ⅰ・Ⅱを履修しゼミの教員の指導の下に卒業研究を行う。

(5) その他

卒業に必要な総単位数のうち18単位分は、教養教育科目でも専門教育科目でも卒業要件に含むことができる科目であれば何を履修しても構いません。卒業に必要な必修科目の単位数の確定は卒業時に行われるので、それまでに卒業に必要な必修単位を満たしているかどうか定期的に確認しながら履修計画をたてるようにしてください。

【文化情報学科 生活情報通信科学コース】

文化情報学科は、入学時に2つの履修コース（生活文化学コース、生活情報通信科学コース）に分かれます。『CAMPUS LIFE』の「生活環境学部規程」及び本年度に配布された『全学教育ガイド』、『専門教育ガイド』、開講科目概要（WEB版）、WEBシラバス等の資料を参考に履修してください。履修にあたって、下記の事項に留意してください。

- (1) 「生活環境学部規程」、『専門教育ガイド』、『全学教育ガイド』ならびに年次ごとの履修モデル〔生活情報通信科学コース〕を参考にして履修してください。
- (2) 文化情報学科の学科共通科目「応用数学Ⅰ（微分積分学）」・「応用数学Ⅱ（線型代数学）」の2科目はできる限り履修することが望めます。
- (3) 学年の進行に伴って、生活情報通信科学コースの専門科目が増加し、3年後期から4年次は主として卒業研究を行いますので、教養教育科目（特に外国語科目、保健体育科目）、学部共通科目は、できるだけ早めに履修してください。卒業研究はⅠからⅣまで記載されていますが、卒業研究Ⅰは早期卒業生対象科目なので、それ以外の学生は履修できません。卒業研究3科目中、2科目は必修で、うち1科目では卒業研究発表会での発表が義務付けられています。卒業研究3科目を全て受講する条件については年度始めのガイダンスで詳しく説明します。なお、全学の情報処理科目（情報処理入門Ⅰ・Ⅱ）は、教員免許取得を希望する場合を除き、生活情報通信科学コースの学生は受講しないでください。同内容を完全に含むカリキュラムをコース科目に含めています。
- (4) 教員免許の取得を希望する学生は、それに必要な科目も履修してください。

文化情報学科 生活情報通信科学コース科目履修モデル

	学部共通	学科共通	情報処理技術系	総合・その他
1年次 前期		<ul style="list-style-type: none"> ★文化情報学概論 ★生活と情報倫理 ★応用数学Ⅰ（微分積分学） ★生活文化と人工知能 ★社会事業史 	<ul style="list-style-type: none"> ☆プログラミング言語Ⅰ ☆プログラミング言語演習 ☆情報処理技術Ⅰ 	
1年次 後期	☆生活環境学原論	<ul style="list-style-type: none"> ★応用数学Ⅱ（線型代数学） ★生活と統計学 ★生活の情報管理とシステム 	<ul style="list-style-type: none"> ☆アルゴリズムとデータ構造 ★情報処理技術Ⅱ ★データベース論 ★データベース演習 ☆プログラミング言語Ⅱ 	★離散数学
2年次 前期		<ul style="list-style-type: none"> ☆ジェンダー文化論 ★情報社会学 ★情報と職業 ★食と農の経済学 ★消費者法 ★家族関係論 		☆計算機実験Ⅰ
2年次 後期		<ul style="list-style-type: none"> ★文化情報学演習 ★ソーシャルリサーチ論 ★人間関係文化論 ★ジェンダー理論 	<ul style="list-style-type: none"> ☆計算機アーキテクチャ論 ☆生活と情報理論 	<ul style="list-style-type: none"> ☆計算機実験Ⅱ ★生活と人工知能
3年次 前期		☆経営データサイエンス	<ul style="list-style-type: none"> ★ソフトウェア工学概論 ★オペレーティングシステム論 	<ul style="list-style-type: none"> ☆論理回路論 ★ハターン認識 ★ソーシャルコンピューティング論 ★言語処理系論 ★グラフ理論 ★生活と人工知能演習 ★生活者目線と人間中心デザイン
3年次 後期		★失敗学と創造学	<ul style="list-style-type: none"> ★計算機ネットワーク ★情報セキュリティ 	<ul style="list-style-type: none"> ★卒業研究Ⅱ ★ヒューマンインターフェース概論 ★生活と数理論理学 ★情報処理技術特別演習
4年次 前期				☆卒業研究Ⅲ
4年次 後期				☆卒業研究Ⅳ

☆専門必修 ★専門選択必修

太字：実験・実習科目

- (注1) 早期卒業のための「卒業研究」の履修に関する注意事項は、以下の通りである。
- ① 早期卒業のために3年次開始時から卒業研究Ⅰの履修を行うには、2年次終了時に成績優秀者として認定されることが必要である。
 - ② 卒業研究Ⅳを履修するには、原則として教職科目を除く全授業科目の取得単位数が100単位以上であることを必要とする。
 - ③ 卒業研究Ⅲを履修するには、卒業研究ⅡとⅣの両方の単位を取得している必要がある。
- (注2) 早期卒業以外のための「卒業研究」の履修に関する注意事項は、以下の通りである。
- ① 卒業研究Ⅰの履修は、原則として認めない。
 - ② 卒業研究Ⅱを履修するには、卒業までの在籍期間が4年以内となる見込みであることを必要とする。また、原則として教職科目を除く全授業科目の取得単位数が80単位以上であることを必要とする。
 - ③ 卒業研究Ⅲを履修するには、原則として教職科目を除く全授業科目の取得単位数が100単位以上であることを必要とする。
 - ④ 卒業研究Ⅳを履修するには、卒業研究ⅡまたはⅢの単位を取得している必要がある。また、原則として教職科目を除く全授業科目の取得単位数が100単位以上であることを必要とする。

【情報衣環境学科 衣環境学コース】

情報衣環境学科は、入学時に2つの履修コース（衣環境学コース、生活情報通信科学コース）に分かれます。『CAMPUS LIFE』の「生活環境学部規程」及び本年度に配布された『全学教育ガイド』、『専門教育ガイド』、開講科目概要（WEB版）、WEBシラバスならびに衣環境学コース配布の授業時間割表等の資料を参考に履修してください。履修にあたって、下記の事項に留意してください。

- (1) 「生活環境学部規程」、『全学教育ガイド』、『専門教育ガイド』ならびに年次ごとの履修モデル [衣環境学コース配布の時間割表] を参考にして履修してください。
- (2) 学科共通専門科目群は衣環境学コース向けのA群と生活情報通信科学コース向けのB群に分かれ、A群およびB群から合計12単位以上（入学年によって異なります）を履修してください。A群の学科共通科目「応用数学Ⅰ（微分積分学）」・「応用数学Ⅱ（線型代数学）」、コース専門科目「被服学実習Ⅰ」・「被服学実習Ⅱ」の4科目はできる限り履修することが望まれます。
- (3) 学年の進行に伴って、衣環境学コースの専門科目や実験実習が多くなり、3年次後期からゼミに所属し卒業研究が始まりますので、教養教育科目（特に外国語科目、保健体育科目）、学部共通専門科目は、衣環境学コースの履修モデルや授業時間割表を参考にしてできるだけ早めに履修してください。
- (4) 専門科目の一部は集中講義で行われますので、開講時期など学務課の掲示板に掲示される情報に注意してください。
- (5) 教員免許の取得を希望する学生は、それに必要な科目も履修してください。

情報衣環境学科 衣環境学コース科目履修モデル

	学部共通	学科共通科目 (必修)	学科共通科目A群 (選択必修)	学科共通科目B群 (選択必修)	コース専門科目 (必修)	コース専門科目 (選択必修)	卒業論文関連	その他卒業に 必要な単位
平成29年度 以前入学者	必修2単位	必修10単位	8単位		必修24単位	18単位	必修16単位	20単位
平成30年度 入学者	必修2単位	必修8単位	10単位		必修24単位	18単位	必修16単位	20単位
平成31年度 ～令和2年 度入学者	必修2単位	必修6単位	12単位		必修22単位	24単位	必修16単位	16単位
令和3年度 以降入学者	必修2単位	必修6単位	12単位		必修20単位	22単位	必修16単位	20単位
1年次 前期		情報衣環境学概論	応用数学Ⅰ(微分積分学) 応用数学Ⅱ(線型代数学)	生活と情報倫理		被服学実習Ⅰ		食物科学概論 住環境学概論
1年次 後期	生活環境学原論	情報セキュリティ と法務		生活と統計学 情報学概論 (平成30年度以降入学者)	衣環境学概論	被服学実習Ⅱ		
2年次 前期		形態情報論 (平成30年度以前入学者)	図学 形態情報論 (平成31年度以降入学者)	情報と職業	衣環境管理学 衣環境学実験Ⅱ(化学) 繊維材料化学(令 和2年度以前入学者)	衣環境造形学 衣環境デザイン トレーニング 論文講読演習(令 和2年度以前入学者) 生活と多変量解析 (平成30年度以降入学者)		家族関係学 生活経済経営学 育児学
2年次 後期			マーケティング論		生活と感覚計測論 衣環境学実験Ⅰ(物理) 形態情報論実習 (平成30年度入学者)	生活界面化学 (平成30年度以降入学者) 形態情報論実習 (平成31年度以降入学者) 衣環境造形学実習 衣環境素材学 アパレル工学		児童学
3年次 前期		ウェアラブルイ ンターフェース デザイン論	創造学	経営工学	繊維状材料性能論 デザイン情報論 (平成30年度以降入学者)	衣環境学実験Ⅳ(化学)		
3年次 後期				失敗学	生活材料物性学	衣環境学実験Ⅲ(物理) ウェアラブル情報デザイン実習	衣環境学演習Ⅰ	
4年次 前期							衣環境学演習Ⅱ	
4年次 後期							卒業研究Ⅰ	
							卒業研究Ⅱ	

【情報環境学科 生活情報通信科学コース】

情報環境学科は、入学時に2つの履修コース（衣環境学コース、生活情報通信科学コース）に分かれます。『CAMPUS LIFE』の「生活環境学部規程」及び本年度に配布された『全学教育ガイド』、『専門教育ガイド』、開講科目概要（WEB版）、WEBシラバスならびに生活情報通信科学コース配布の授業時間割表等の資料を参考に履修してください。履修にあたって、下記の事項に留意してください。

- (1) 「生活環境学部規程」、『専門教育ガイド』、『全学教育ガイド』ならびに年次ごとの履修モデル〔生活情報通信科学コース配布の時間割表〕を参考に履修してください。
- (2) 情報環境学科の学科共通科目「応用数学Ⅰ（微分積分学）」・「応用数学Ⅱ（線型代数学）」の2科目はできる限り履修することが望まれます。
- (3) 学年の進行に伴って、生活情報通信科学コースの専門科目が増加し、3年後期から4年次は主として卒業研究を行いますので、教養教育科目（特に外国語科目、保健体育科目）、学部共通科目は、生活情報通信科学コース配布の授業時間割表を参考にできるだけ早めに履修してください。卒業研究はⅠからⅣまで記載されていますが、卒業研究Ⅰは早期卒業生対象科目なので、それ以外の学生は履修できません。卒業研究3科目中、2科目は必修で、うち1科目では卒業研究発表会での発表が義務付けられています。卒業研究3科目を全て受講する条件については年度始めのガイダンスで詳しく説明します。なお、全学の情報処理科目（情報処理入門Ⅰ・Ⅱ）は、教員免許取得を希望する場合を除き、生活情報通信科学コースの学生は受講しないでください。同内容を完全に含むカリキュラムをコース科目に含めています。
- (4) 教員免許の取得を希望する学生は、それに必要な科目も履修してください。

情報環境学科 生活情報通信科学コース科目履修モデル

	学部共通	学科共通A群	学科共通B群	情報処理技術系	総合・その他
1年次前期	★ジェンダー文化論 (平成29年度以前入学生は選択必修、平成30年度以降入学生は選択。)	☆情報衣環境学概論 ★応用数学Ⅰ（微分積分学）	★生活と情報倫理	☆プログラミング言語1 ★プログラミング言語演習 ☆情報処理技術1	
1年次後期	☆生活環境学原論	★応用数学Ⅱ（線型代数学）	☆情報セキュリティと法務 ☆情報学概論 ★生活と統計学	☆アルゴリズムとデータ構造 ★情報処理技術2 ★データベース論 ★データベース演習	★離散数学
2年次前期		★形態情報論 (平成30年度以前入学生は必修、平成31年度以降入学生は選択必修)	★情報と職業	☆情報理論 ★プログラミング言語2 ★ソフトウェア工学概論	★計算機実験1 ☆論理回路論 ★情報社会学
2年次後期	★児童学 (平成29年度以前入学生は選択必修、平成30年度以降入学生は選択。)	★図学 ★マーケティング論		☆計算機アニメータデータ論 ★計算機ネットワーク	★計算機実験2 ★人工知能 ★ヒューマンインターフェース概論
3年次前期		☆ウェアラブルインターフェースデザイン論	★経営工学	★オペレーティングシステム論 ★プロジェクト管理とシステム監査	★パターン認識 ★言語処理系論 ★マルチメディア情報工学 ★数値解析
3年次後期		★創造学	★英数学		★卒業研究Ⅱ ★数理モデリング ★シミュレーション科学 ★グラフ理論 ★数理論理 情報処理技術特別講義Ⅰ～Ⅳ
4年次前期 4年次後期					★卒業研究Ⅲ ★卒業研究Ⅳ

☆専門必修 ★専門選択必修

太字：実験・実習科目

(注1)

- ① 早期卒業のための「卒業研究」の履修に関する注意事項は、以下の通りである。
- ② 早期卒業のために3年次開始時から卒業研究Ⅰの履修を行うには、2年次終了時に成績優秀者として認定されることが必要である。
- ③ 卒業研究Ⅱを履修するには、原則として教職科目を除く全授業科目の取得単位数が100単位以上であることを必要とする。
- ④ 卒業研究Ⅲを履修するには、卒業研究ⅠとⅡの両方の単位を取得している必要がある。

(注2)

- ① 早期卒業以外のための「卒業研究」の履修に関する注意事項は、以下の通りである。
- ② 卒業研究Ⅰの履修には、原則として認めない。
- ③ 卒業研究Ⅱを履修するには、卒業までの在籍期間が4年以内となる見込みであることを必要とする。また、原則として教職科目を除く全授業科目の取得単位数が80単位以上であることを必要とする。
- ④ 卒業研究Ⅲを履修するには、原則として教職科目を除く全授業科目の取得単位数が100単位以上であることを必要とする。
- ⑤ 卒業研究Ⅳを履修するには、卒業研究ⅡまたはⅢの単位を取得している必要がある。また、原則として教職科目を除く全授業科目の取得単位数が100単位以上であることを必要とする。

【生活文化学科】

本学科では、人間の生活にかかわる社会・文化的諸問題を、多角的・重層的に扱います。生活の中から問題を発見し、それに自ら取り組む力を養う教育を目指します。それに必要な探求心と広範な基礎知識を養い発展させるために、下記の事項に留意してください。

(1) 教養科目群

将来の研究への興味を養い、具体的な問題設定ができるようになるためにも、いろいろな科目をバランスよく履修することが望まれます。20単位以上必要です。

(2) 基礎科目群

基礎科目群は外国語12単位、保健体育科目2単位以上(合計14単位以上)修得してください。

- ① 外国語科目 「英語」「ドイツ語」「フランス語」の中から一つの外国語科目を8単位履修してください。

他の外国語については、「英語」「ドイツ語」「フランス語」「スペイン語」「中国語」「韓国語」「ロシア語」のうち、上記で選択しなかった外国語を1つ選び4単位を履修してください。科目の選択は自由ですが、読解力、表現力が豊かになるように積極的に履修してください。

※ 但し、外国人留学生在が日本語科目を修得した場合、4単位まで外国語科目の単位として認められます。

- ② 保健体育科目 2単位必修です。「健康運動実習」を履修してください。
- ③ 情報処理科目 学科としてとくに指定はありませんが、教員免許取得希望者は「情報処理入門Ⅰ」または「情報処理入門Ⅱ」を履修してください。

(3) 専門教育科目

- ① 1年次で「生活文化学入門」を履修してください。また学部共通科目・学科専門基盤科目の選択必修科目から4単位以上を履修してください。
- ② 2年次では、「ソーシャルリサーチ論」、「社会統計学」は選択必修科目ですが、なるべく履修するように努めてください。
- ③ 3年次の後期「生活文化学演習」は必修科目です。
- ④ 4年次には生活文化学卒業演習Ⅰ・Ⅱ、および卒業研究Ⅰ・Ⅱを履修し、卒業研究を行います。
- ⑤ 教員免許取得を希望する学生は『全学教育ガイド』の「教職科目群」をよく読んで、1年次から計画的に履修していく必要があります。
- ⑥ 「インターンシップ実習(生活文化学)」は、3年次以上で履修できます。詳細については随時掲示してお知らせします。

(4) 履修モデル

本学科は、多様な学び方を可能にするよう履修科目選択の幅を大きく取っている点の特徴で

す。ガイダンス時に典型的な履修モデルをいくつか紹介しますので参考にしてください。次表は4年間を通じた大卒のイメージです。

学 年	全学共通科目、専門教育科目	卒業研究関連科目
1年次	教養教育科目とキャリア教育科目を主に履修する。 専門教育科目：1年次対象科目を履修しておくことが望ましい。 生活文化学入門を履修する。 教員免許希望者は教職科目を履修する。	
2年次	ソーシャルリサーチ論、社会統計学は選択必修であるが、履修するよう努めること。 上記以外の専門教育科目は選択して履修する（自分の関心や卒論の希望テーマに沿って自由に科目を選択する）。 教員免許希望者は教職科目を履修する。	
3年次	卒論の希望テーマに沿って専門教育科目を履修する（卒業研究の指導を希望する教員の演習・実習は必ず受講する。それ以外の専門教育科目は選択して履修する）。 インターンシップ実習（生活文化学）は卒業要件単位には含まない。	後期から、生活文化学演習を履修する（各教員のゼミに分かれて卒業研究の準備を始める）。
4年次	専門教育科目等の履修を継続する。	生活文化学卒業演習Ⅰ・Ⅱと卒業研究Ⅰ・Ⅱを履修しゼミの教員の指導の下に卒業研究を行う。

(5) その他

卒業に必要な総単位数のうち22単位分は、教養教育科目でも専門教育科目でも卒業要件に含まれることができる科目であれば何を履修しても構いません。

ガイダンス時における注意事項以外は『CAMPUS LIFE』『全学教育ガイド』『専門教育ガイド』、WEBシラバス等を熟読し、それらに従って履修してください。卒業に必要な必修科目の単位数の確定は卒業時に行われるので、それまでに卒業に必要な必修単位を満たしているかどうか定期的に確認しながら履修計画をたてるようにしてください。

11. 編入学生のために

令和7年度第3年次編入学生は、令和5年度入学生と同じ学則・生活環境学部規程が卒業時まで適用されます。入学時のガイダンスで配布した令和5年度の『CAMPUS LIFE』をよく読み、履修計画を立ててください。

なお、科目の見直し等で『CAMPUS LIFE』に記載されている科目名称と開講科目が異なることがあります。不明な点は必ず学科・コースの教務担当の教員、または学務課生活環境学部係に確認してください。

12. 生活環境学部で取れる資格等

生活環境学部の各学科・コースに関係のある資格等について、一部を挙げます。詳しくは学科・コースの教務担当の教員または学務課生活環境学部係に確認してください。

〈生活環境学部共通〉

- ☆ 高等学校教諭一種免許状（家庭）
- ☆ 中学校教諭一種免許状（家庭）
- ☆ 学校図書館司書教諭
- ☆ 学芸員
- ☆ 数理・データサイエンス・AI教育プログラム認定制度（応用基礎レベル）

〈食物栄養学科〉

- ☆ 栄養教諭一種免許状
- ★ 管理栄養士
- ☆ 栄養士
- ☆ 食品衛生管理者／食品衛生監視員
- ☆ 社会福祉主事（平成28年度以降入学生）（「栄養生化学」「医学概論」「公衆衛生学」全てを修得し卒業すること）
- 甲種危険物取扱者（化学に関する授業科目（「微生物学」「食品衛生学」「応用栄養学」を含むことができる）を15単位以上修得）

〈心身健康学科〉

- ☆ 高等学校教諭一種免許状（保健体育）
- ☆ 中学校教諭一種免許状（保健体育）
- ★ 公認心理師（※大学院進学後定められた科目10単位を履修、もしくは定められた施設での2年以上の実務経験が必要）

- ☆ 社会福祉主事（平成31年度以降入学生）（「生活環境学原論」「衛生・公衆衛生学」「育児学」全てを修得し卒業すること）

〈住環境学科〉

- ★ 一級建築士
卒業後受験できる。免許登録に要実務経験2年。本学大学院博士前期課程において、指定科目を修得すれば修得単位数に応じて実務経験1年ないし2年とみなされる。
- ★ 二級建築士、木造建築士
卒業後受験できる。
- ★ 技術士（平成30年度以前入学者はJABEE認定による一次試験免除）
 - インテリアプランナー（（公財）建築技術教育普及センター資格制度における試験に合格した人は、卒業後にインテリアプランナーの登録を受けることができる。実務経験不要。）
 - 宅地建物取引主任者
 - 福祉住環境コーディネーター ○ インテリアコーディネーター
 - インテリア設計士（2級） ○ 登録ランドスケープアーキテクト補
 - カラーコーディネーター ○ 建築CAD検定
 - マンションリフォームマネージャー
 - キッチンスペシャリスト（学科試験のみ在学中に受験可）
- ★ 一級施工管理技士（卒業後要実務経験3年：うち1年は指導監督の実務経験要）
- ★ 二級施工管理技士（卒業後要実務経験1年）
 - 商業施設士補（所定単位修得後、（社）商業施設技術者・団体連合会の主催する指定講習会の受講により資格認定）
- ★ 商業施設士（卒業後要実務経験1年、または商業施設士補取得により、学科試験免除（実務経験は問わない））
- ☆ 社会福祉主事（令和2年度以降入学生）（「生活環境学原論」「食物科学概論」「育児学」全てを修得し卒業すること）

〈文化情報学科〉

- ☆ 高等学校教諭一種免許状（情報）
- ☆ 社会福祉主事（「生活環境学原論」「社会事業史」「ソーシャルリサーチ論」「家族援助法」「経済政策」「経済原論Ⅰ」「経済原論Ⅱ」から3科目を修得し卒業すること。）
- ITパスポート試験
- 基本情報技術者試験 ○ 応用情報技術者試験

〈情報衣環境学科〉

- ☆ 高等学校教諭一種免許状（情報）
- 繊維製品品質管理士（TES）
- ITパスポート試験
- 基本情報技術者試験 ○ 応用情報技術者試験
- ☆ 社会福祉主事（令和2年度以降入学生）（「生活環境学原論」「食物科学概論」「育児学」全てを修得し卒業すること）

〈生活文化学科〉

- ☆ 社会福祉主事（「ソーシャルリサーチ論」「家族援助法」「経済原論Ⅰ」「経済原論Ⅱ」「経済政策」「社会事業史」から3科目を修得し卒業すること。令和2年度以降入学生は、「生活環境学原論」を3科目の1つとすることもできる。）

☆：所定の単位を修めて取得（任用資格を含む）

★：受験資格など（実務経験を必要とするものがあります）

○：在学中に受験できる資格

■：一部受験科目免除

※その他の取得可能な資格に関して、全学教育ガイドの資格に関する項目にも掲載しております。

13. 生活環境学部専門教育科目一覧

(1) 科目改正対応表

令和3年度以降の科目改正の一覧を下記に掲げます。令和2年度以前入学生は学務課生活環境学部係にて改正事項を確認してください。

① 心身健康学科専門科目

令和3年度		令和4～6年度		令和7年度		改正の要点・経過措置
授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	
高齢者生活環境論	2	—	—	—	—	廃止。令和4年度以降入学生は履修不可。
環境生理学	2	—	—	—	—	廃止。令和4年度以降入学生は履修不可。
—	—	脳機能形態学	2	脳機能形態学	2	新設。令和3年度以前入学生は履修不可。
認知神経科学論	2	—	—	—	—	廃止。令和4年度以降入学生は履修不可。
生活行動変容論演習	2	生活行動変容論	2	生活行動変容論	2	科目名称変更。入学年度の科目名で履修すること。
—	—	衣環境管理学	2	衣環境管理学	2	新設。令和3年度以前入学生は情報衣環境学科衣環境学コースの同科目を受講すること。
—	—	生活界面化学	2	生活界面化学	2	新設。令和3年度以前入学生は情報衣環境学科衣環境学コースの生活界面化学を受講すること。
—	—	衣環境学実験	2	衣環境学実験	2	新設。令和3年度以前入学生は履修不可。
環境人間工学実習	2	—	—	—	—	廃止。令和4年度以降入学生は履修不可。
生活保健学	2	人間行動生理学	2	人間行動生理学	2	科目名称変更。入学年度の科目名で履修すること。
—	—	スポーツ政策論	2	スポーツ政策論	2	新設。令和6年度以降入学者対象。
体育・スポーツ事故論	2	体育・スポーツ事故論	2	—	—	廃止。令和6年度以降入学生は履修不可。
—	—	—	—	生活健康学実験Ⅰ	2	新設。令和7年度以降入学者対象。
—	—	—	—	生活健康学実験Ⅱ	2	新設。令和7年度以降入学者対象。

令和3年度		令和4～6年度		令和7年度		改正の要点・経過措置
授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	
—	—	—	—	生活健康学実験Ⅲ	2	新設。令和7年度以降入学者対象。
—	—	—	—	生活健康学実習	2	新設。令和7年度以降入学者対象。

② 住環境学科専門科目

令和3年度		令和4・5年度		令和6年度以降		改正の要点・経過措置
授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	
測量学実習	2	—	—	—	—	廃止。令和4年度以降入学生は履修不可。
建築材料学実習	1	—	—	—	—	廃止。令和4年度以降入学生は履修不可。
設計演習Ⅰ	2	設計演習Ⅰ	3	設計演習Ⅰ	3	単位数変更
建築生産デザイン学演習	2	建築生産	2	建築生産	2	科目名称変更。入学年度の科目名で履修すること。
建築図学	2	—	—	—	—	廃止。令和4年度以降入学生は履修不可。
住環境デザイン基礎	1	—	—	—	—	廃止。令和4年度以降入学生は履修不可。
空間計画のための物理環境科学演習	3	空間計画のための物理環境科学演習	2	空間計画のための物理環境科学演習	2	単位数変更
—	—	空間表現演習	2	空間表現演習	2	新設。令和4年度以降入学生対象。
—	—	まちづくり演習A	2	まちづくり演習A	2	新設。開設年度以前から在籍している学生も履修できる。
—	—	まちづくり演習B	2	まちづくり演習B	2	新設。開設年度以前から在籍している学生も履修できる。
住環境学フィールド演習Ⅲ	1	—	—	—	—	廃止。令和4年度以降入学生は履修不可。
住環境学フィールド演習Ⅳ	1	住環境学フィールド演習Ⅳ	1	—	—	廃止。令和5年度以降入学生は履修不可。
建築・住居史	2	建築・住居史	2	建築史Ⅰ	2	科目名称変更。入学年度の科目名で履修すること。
建築・住宅論	2	建築・住宅論	2	建築史Ⅱ	2	科目名称変更。入学年度の科目名で履修すること。

③ 文化情報学科 生活文化学コース専門科目

令和5年度以降		改正の要点・経過措置
授業科目	単位	
企業経済論演習	2	新設。開設年度以前から在籍している学生も履修できる。

④ 文化情報学科 生活情報通信科学コース専門科目

令和7年度		改正の要点・経過措置
授業科目	単位	
生活と人工知能演習	2	新設。開設年度以前から在籍している学生も履修できる。
生活者目線と人間中心デザイン	2	新設。開設年度以前から在籍している学生も履修できる。
情報セキュリティ	2	新設。開設年度以前から在籍している学生も履修できる。

⑤ 情報衣環境学科 衣環境学コース専門科目

令和2年度		令和3年度以降		改正の要点・経過措置
授業科目	単位	授業科目	単位	
論文講読演習	2	—	—	廃止。令和3年度以降入学生は履修不可。
繊維材料化学	2	—	—	廃止。令和3年度以降入学生は履修不可。

⑥ 情報衣環境学科 生活情報通信科学コース専門科目

令和2年度		令和3年度以降		改正の要点・経過措置
授業科目	単位	授業科目	単位	
数式処理論	2	—	—	廃止。令和3年度以降入学生は履修不可。

⑦ 生活文化学科専門科目

令和3・4年度		令和5年度以降		改正の要点・経過措置
授業科目	単位	授業科目	単位	
ジェンダー理論	—	ジェンダー理論	2	新設。開設年度以前から在籍している学生も履修できる。
ジェンダー文化論演習	2	ジェンダー文化論演習	2	再設。廃止中（平成31年～令和2年）に在籍していた学生も履修できる。
—	—	企業経済論演習	2	新設。開設年度以前から在籍している学生も履修できる。

(2) 生活環境学部専門教育科目一覧

生活環境学部専門教育科目の一覧を下記に掲げます。基本的に「学部共通科目」及び自身が所属する学科・コースの科目を履修することになります（後述の「15. 令和7年度生活環境学部専門教育科目 積極開放科目」等、他学科・他コースの科目も履修できます。その他の科目については、WEBシラバスを参照するほか、学科・コースの教務担当の教員、または学務課生活環境学部係に確認してください。）。

下記一覧の「履修上の注意事項」に注意しながら、履修登録してください。

学科ごとの参照ページは以下のとおりです。

1. 食物栄養学科 … 232～235	4. 文化情報学科 … 247～251
2. 心身健康学科 … 236～242	5. 情報衣環境学科 … 252～255
3. 住環境学科 … 243～246	6. 生活文化学科 … 256～259

なお、所属する学科により「学部共通科目」の取り扱いが異なります。必ず自分が所属する学科のページを参照して履修を行ってください。

1. 食物栄養学科

科目 ナンバリング コード	科目名	単 位			対象 年次	履修上の注意事項
		必修	選必	選択		
学部共通科目						
3100001A1	生活環境学原論		2		1	
3100003A1	児 童 学			2	1	本年度開講せず
3100004A1	家庭機械・家庭電気・ 情 報 処 理			2	1	本年度開講せず。令和5年度以前 入学生対象
3100020A2	※ジェンダー文化論		2		2	生活文化学科以外対象
3100024A1	心身健康学概論Ⅰ		2		1	
3100026A1	※心身健康学概論Ⅱ (心理学概論)		2		1	平成30年度以降入学生対象
食物栄養学科専門科目						
食物栄養学科専門基盤科目 (他学科開講科目を修得した場合も食物栄養学科専門基盤科目の修得単位として算入されます)						
3261001A1	食物科学概論		2		1	令和4年度以降入学生は文化情報 学科生活文化学コース開講科目
3210002D1	調理学実習(D)			1	1	
3210003D1	応用調理学実習(D)			1	1	
3261004A1	衣環境学概論		2		1	令和4年度以降入学生は文化情報学科生活文化学コース開講科目。令和3年度以前入学生で履修希望者は学務課へ
3261042D1	被服学実習Ⅰ(A)			1	1	令和4年度以降入学生は文化情報 学科生活文化学コース開講科目
3261043D1	被服学実習Ⅱ(A)			1	1	令和4年度以降入学生は文化情報 学科生活文化学コース開講科目
3240006A1	住環境学概論		2		1	令和4年度以降入学生は住環境学 科開講科目
3260008A2	家族関係論		2		2	令和4年度以降入学生は文化情報 学科開講科目
3261019A2	生活経営学		2		2	令和4年度以降入学生は文化情報 学科生活文化学コース開講科目
3221004A2	育 児 学			2	2	心身健康学科生活健康学コース開 講科目
食物栄養学科専門教育科目						
3211001A1	環 境 と 健 康		2		1	食物栄養学科対象
3211002A2	公 衆 衛 生 学		2		2	食物栄養学科対象
3211003A1	生 活 福 祉 論		1		1	食物栄養学科対象

(注1) 対象年次は履修するのに適切な学年のことで、**それ未満の学生は履修できません。**

(注2) 科目名の前に※を付した科目は、入学年度により履修できる科目、必修区分、対象年次が異なるものですので、特にご注意ください。

科目 ナンバリング コード	科目名	単 位			対象 年次	履修上の注意事項
		必修	選必	選択		
3211004A1	食糧経済学		1		1	食物栄養学科対象
3211005A1	医学概論		2		1	食物栄養学科対象
3211006A2	病態内科学		2		2	食物栄養学科対象
3211007A3	分子病態学		2		3	食物栄養学科対象
3211008A2	微生物学	2			2	食物栄養学科対象
3211009A2	細胞生理学		2		2	食物栄養学科対象
3211010A2	生体安全学	2			2	食物栄養学科対象
3211011A1	生化学Ⅰ	2			1	食物栄養学科対象
3211012A1	生化学Ⅱ		2		1	食物栄養学科対象
3211013C3	病態生理・生化学実験	2			3	食物栄養学科対象
3211014C3	生体安全学実験	2			3	食物栄養学科対象
3211015A1	食品化学総論	2			1	食物栄養学科対象
3211016A2	食品化学各論	2			2	食物栄養学科対象
3211017A2	調理科学		2		2	食物栄養学科対象
3211018A2	食品微生物学	2			2	食物栄養学科対象
3211019A2	食品衛生学	2			2	食物栄養学科対象
3211020D3	食品加工学実習		1		3	食物栄養学科対象
3211021C3	食品化学実験	2			3	食物栄養学科対象
3211022C3	食品微生物学実験	2			3	食物栄養学科対象
3211023A2	栄養生化学	2			2	食物栄養学科対象
3211024C2	基礎栄養学実験	2			2	食物栄養学科対象
3211025A2	応用栄養生理学	2			2	食物栄養学科対象
3211026A2	応用栄養学Ⅰ		2		2	食物栄養学科対象
3211027A3	応用栄養学Ⅱ		2		3	食物栄養学科対象

(注1) 対象年次は履修するのに適切な学年のことで、**それ未満の学生は履修できません。**

(注2) **科目名の前に※を付した科目は、入学年度により履修できる科目、必修区分、対象年次が異なるものですので、特にご注意ください。**

科目 ナンバリング コード	科目名	単 位			対象 年次	履修上の注意事項
		必修	選必	選択		
3211028D3	応用栄養学実習			1	3	食物栄養学科対象
3211029A2	栄養教育論 I		2		2	食物栄養学科対象
3211030A2	栄養教育論 II		2		2	食物栄養学科対象
3211031A3	栄養教育論 III		2		3	食物栄養学科対象
3211032D3	栄養教育論実習			1	3	食物栄養学科対象
3211033A3	臨床栄養学総論		2		3	食物栄養学科対象
3211034A3	臨床栄養学 I		2		3	食物栄養学科対象
3211035A3	臨床栄養学 II		2		3	食物栄養学科対象
3211036A3	臨床栄養学 III		2		3	食物栄養学科対象
3211037D3	臨床栄養学実習			2	3	食物栄養学科対象
3211038A2	公衆栄養学 I		2		2	食物栄養学科対象
3211039A2	公衆栄養学 II		2		2	食物栄養学科対象
3211040D2	公衆栄養学実習			1	2	食物栄養学科対象
3211041A3	給食経営管理学 I		2		3	食物栄養学科対象
3211042A3	給食経営管理学 II		2		3	食物栄養学科対象
3211043D3	給食経営管理学実習			1	3	食物栄養学科対象
3211044B4	栄養学総合演習		2		4	食物栄養学科対象
3211046D3	※臨床栄養学臨地実習 I			2	3	食物栄養学科対象 平成30年度以降入学生対象
3211047D3	※臨床栄養学臨地実習 II			1	3	食物栄養学科対象 平成30年度以降入学生対象
3211048D3	公衆栄養学臨地実習			1	3	食物栄養学科対象
3211049D3	給食経営管理学臨地実習			1	3	食物栄養学科対象
3211050A1	有機化学 I	2			1	
3211051B1	基礎化学演習		2		1	
3211052B1	基礎生物学演習		2		1	

(注1) 対象年次は履修するのに適切な学年のことで、**それ未満の学生は履修できません。**

(注2) **科目名の前に※を付した科目は、入学年度により履修できる科目、必修区分、対象年次が異なるものですので、特にご注意ください。**

科目 ナンバリング コード	科 目 名	単 位			対象 年次	履修上の注意事項
		必修	選必	選択		
3211055A1	食 品 加 工 学		2		1	
3211056A2	基礎栄養学特別講義Ⅰ		2		2	本年度開講せず
3211057A2	基礎栄養学特別講義Ⅱ		2		2	
3211058A3	食物栄養学研究法	2			3	食物栄養学科対象
3211059A2	栄 養 教 諭 論			2	2	
3211060A2	食に関する指導論			2	2	
3211061F4	卒 業 研 究 Ⅰ	6			4	
3211062F4	卒 業 研 究 Ⅱ	6			4	

(注1) 対象年次は履修するのに適切な学年のことで、**それ未満の学生は履修できません。**

(注2) **科目名の前に※を付した科目は、入学年度により履修できる科目、必修区分、対象年次が異なるものですので、特にご注意ください。**

2. 心身健康学科

科目 ナンバリング コード	科 目 名	単 位			対象 年次	履修上の注意事項
		必修	選必	選択		
学部共通科目						
3100001A1	生活環境学原論	2			1	
3100003A1	※児童学		2		1	本年度開講せず
				2	1	本年度開講せず。情報衣環境学科平成30年度以降入学生対象
3100004A1	※家庭機械・家庭電気・情報処理		2		1	本年度開講せず。令和5年度以前入学生対象
				2	1	本年度開講せず。情報衣環境学科平成30年度以降入学生対象
3100020A2	※ジェンダー文化論		2		2	令和3年度以降入学生対象
				2	2	情報衣環境学科平成30年度以降入学生対象
心身健康学科共通科目						
3220001A1	心身健康学概論Ⅰ	2			1	
3220003A1	心身健康学概論Ⅱ (心理学概論)	2			1	
3220004A1	女性健康論	2			1	
心身健康学科専門基盤科目 (他学科開講科目を修得した場合も心身健康学科専門基盤科目の修得単位として算入されます)						
3220005A1	生活健康学概論		2		1	
3220006A2	衛生・公衆衛生学		2		2	
3220007A2	※生活内科学		2		2	平成29年度以前入学生対象
3220008A2	※生活内科学(人体の構造と機能及び疾病)		2		2	平成30年度以降入学生対象
3220009A2	※高齢者生活環境論		2		2	本年度開講せず。令和3年度以前入学生対象
3220010A1	人体生理学		2		1	
3220011A1	スポーツ生理学		2		1	
3220012A2	人体解剖学		2		2	
3220013A2	運動医学論		2		2	
3220014A2	※環境生理学		2		2	本年度開講せず。令和3年度以前入学生対象

(注1) 対象年次は履修するのに適切な学年のことで、それ未満の学生は履修できません。

(注2) 科目名の前に※を付した科目は、入学年度により履修できる科目、必修区分、対象年次が異なるものですので、特にご注意ください。

科目 ナンバリング コード	科 目 名	単 位			対象 年次	履修上の注意事項
		必修	選必	選択		
3220034A2	※脳機能形態学		2		2	令和4年度以降入学生対象
3220015A1	スポーツバイオメカニクス		2		1	
3220016A1	※体育・スポーツ事故論		2		1	本年度開講せず。令和5年度以前入学生対象
3220036A1	※スポーツ政策論		2		1	令和6年度以降入学生対象
3220018A1	生涯スポーツ論		2		1	
3220019D1	シーズンスポーツ実習・冬		1		1	
3220020A1	認知神経科学論		2		1	本年度開講せず。令和3年度以前入学生対象
3261004A1	衣環境学概論		2		1	令和4年度以降入学生は文化情報学科生活文化学コース開講科目
3261005D1	被服学実習Ⅰ(C)		1		1	令和4年度以降入学生は文化情報学科生活文化学コース開講科目
3261006D1	被服学実習Ⅱ(C)		1		1	令和4年度以降入学生は文化情報学科生活文化学コース開講科目
3231006A2	※家族関係学		2		2	本年度開講せず。令和3年度以前入学生対象、情報衣環境学科開講科目
3231008A2	※生活経済経営学		2		2	本年度開講せず。令和3年度以前入学生対象、情報衣環境学科開講科目
3260008A2	※家族関係論		2		2	令和4年度以降入学生対象、文化情報学科開講科目
3261019A2	※生活経営学		2		2	令和4年度以降入学生対象、文化情報学科生活文化学コース開講科目
3220021A2	身体表現学		2		2	
3220022A2	※生活行動変容論演習		2		2	本年度開講せず。令和3年度以前入学生対象
3220035A2	※生活行動変容論		2		2	令和4年度以降入学生対象
3220024A2	※家族心理学(社会・集団・家族心理学)		2		2	平成30年度以降入学生対象
3220025A2	※犯罪心理学		2		2	平成29年度以前入学生対象
3220026A2	※司法・犯罪心理学		2		2	平成30年度以降入学生対象
3220028A2	※教育臨床心理学(教育・学校心理学)		2		2	平成30年度以降入学生対象
3220029A2	※発達臨床心理学		2		2	平成29年度以前入学生対象
3220030A2	※発達臨床心理学(発達心理学)		2		2	平成30年度以降入学生対象
3220031A2	※障害者・障害児心理学		2		2	平成30年度以降入学生対象

(注1) 対象年次は履修するのに適切な学年のことで、それ未満の学生は履修できません。

(注2) 科目名の前に※を付した科目は、入学年度により履修できる科目、必修区分、対象年次が異なるものですので、特にご注意ください。

科目 ナンバリング コード	科 目 名	単 位			対象 年次	履修上の注意事項
		必修	選必	選択		
3220032A2	※福 祉 心 理 学		2		2	平成30年度以降入学生対象
3220033A2	※産 業・組 織 心 理 学		2		2	平成30年度以降入学生対象
心身健康学科生活健康学コース専門教育科目						
3261001A1	食 物 科 学 概 論		2		1	令和4年度以降入学生は文化情報 学科生活文化学コース開講科目
3240006A1	住 環 境 学 概 論		2		1	令和4年度以降入学生は住環境学 科開講科目
3221003A2	食 健 康 論		2		2	
3221004A2	育 児 学		2		2	
3221007A3	自 律 神 経 科 学	2			3	
3221008A3	被 服 生 理 学	2			3	
3221010A3	※行 動 神 経 内 分 泌 学	2			3	平成30年度以降入学生対象
3221011A3	※生 活 保 健 学	2			3	令和3年度以前入学生対象
3221030A3	※人 間 行 動 生 理 学	2			3	令和4年度以降入学生対象
3221012A2	※食 環 境 論	2			2	令和4年度以前入学生対象
			2		2	令和5年度以降入学生対象
3221013A3	環 境 人 間 工 学	2			3	
3221014D1	※調 理 学 実 習 (G)		1		1	本年度開講せず。令和3年度以前入 学生対象。履修希望の場合は学務課へ
3261002D1	※調 理 学 実 習 (E)		1		1	令和4年度以降入学生は文化情報 学科生活文化学コース開講科目
3221015C2	※生 活 健 康 学 基 礎 実 験		2		2	令和6年度以前入学生対象
3221016D3	※環 境 人 間 工 学 実 習		2		3	本年度開講せず。令和3年度以前 入学生対象
3221017C3	※栄 養 学 実 験		2		3	令和5年度以前入学生対象
			2		2	令和6年度入学生対象
3221018D3	※ス ト レ ス の 科 学 実 習		2		2	令和4年度以前入学生、令和6年 度入学生対象
			2		3	令和5年度入学生対象
3221019D3	※人 体 生 理 学 実 習		2		2	令和4年度以前入学生、令和6年 度入学生対象

(注1) 対象年次は履修するのに適切な学年のことで、それ未満の学生は履修できません。

(注2) 科目名の前に※を付した科目は、入学年度により履修できる科目、必修区分、対象年次が異なるものですので、特にご注意ください。

科目 ナンバリング コード	科 目 名	単 位			対象 年次	履修上の注意事項
		必修	選必	選択		
3221019D3	※人体生理学実習		2		3	令和5年度入学生対象
3221020D2	※人体計測実習		2		2	本年度開講せず。平成30年度以前入学生対象
3221027A3	※衣環境管理学		2		2	令和4年度入学生対象
		2			3	令和5年度以降入学生対象
3221028A2	※生活界面化学		2		2	令和4年度以降入学生対象
3221029C3	※衣環境学実験		2		2	令和4年度以前入学生、令和6年度入学生対象
			2		3	令和5年度入学生対象
3221030C2	※生活健康学実験Ⅰ		2		2	本年度開講せず。令和7年度以降入学生対象
3221031C2	※生活健康学実験Ⅱ		2		2	本年度開講せず。令和7年度以降入学生対象
3221032C3	※生活健康学実験Ⅲ		2		3	本年度開講せず。令和7年度以降入学生対象
3221033D3	※生活健康学実習		2		3	本年度開講せず。令和7年度以降入学生対象
3221021B3	心身健康学研究演習Ⅰ	2			3	
3221022B3	心身健康学研究演習Ⅱ	2			3	
3221023B4	心身健康学卒業演習Ⅰ	2			4	
3221024B4	心身健康学卒業演習Ⅱ	2			4	
3221025F4	卒業研究Ⅰ	6			4	
3221026F4	卒業研究Ⅱ	6			4	
心身健康学科スポーツ健康科学コース専門教育科目						
3222001A2	※体育・スポーツ史		2		2	令和4年度以前入学生、令和6年度以降入学生対象
		2			3	令和5年度入学生対象
3222002A2	学 校 保 健		2		2	
3222003A3	ス ポ ー ツ 心 理 学	2			3	
3222004A3	身 体 運 動 制 御 論	2			3	
3222005A3	※ス ポ ー ツ 法 学	2			3	令和4年度以前入学生、令和6年度以降入学生対象

(注1) 対象年次は履修するのに適切な学年のことで、**それ未満の学生は履修できません。**

(注2) **科目名の前に※を付した科目は、入学年度により履修できる科目、必修区分、対象年次が異なるものですので、特にご注意ください。**

科目 ナンバリング コード	科目名	単 位			対象 年次	履修上の注意事項
		必修	選必	選択		
3222005A3	※ス ポ ー ツ 法 学		2		2	令和5年度入学生対象
3222006A3	身体コミュニケーション論	2			3	
3222007A3	※体 育 社 会 学	2			3	本年度開講せず。平成29年度以前入学生対象
3222008A3	※体育・スポーツ社会学	2			3	平成30年度以降入学生対象
3222009A3	スポーツ精神生理学	2			3	
3222010D2	身 体 表 現 実 習		1		2	
3222011D2	基 礎 運 動 実 習		1		2	
3222012D2	個 人 ス ポ ー ツ 実 習 A		1		2	
3222013D2	個 人 ス ポ ー ツ 実 習 B		1		2	本年度開講せず
3222014D2	チ ー ム ス ポ ー ツ 実 習 A		1		2	本年度開講せず
3222015D2	チ ー ム ス ポ ー ツ 実 習 B		1		2	
3222016D2	ボ デ ィ ワ ー ク 実 習		1		2	本年度開講せず
3222017D2	武 道 実 習		1		2	本年度開講せず
3222018D2	シ ー ズ ヌ ス ポ ー ツ 実 習 ・ 夏		1		2	
3222019B2	地 域 連 携 運 動 演 習		2		2	本年度開講せず
3222020B2	※ ス ポ ー ツ 健 康 科 学 演 習 A		2		3	本年度開講せず。令和2年度以前入学生対象
			2		2	令和3年度以降入学生対象
3222021B3	ス ポ ー ツ 健 康 科 学 演 習 B		2		3	
3222022B2	ス ポ ー ツ 健 康 科 学 入 門 演 習 I		2		2	
3222023B2	ス ポ ー ツ 健 康 科 学 入 門 演 習 II		2		2	
3222024B3	心身健康学研究演習 I	2			3	
3222025B3	心身健康学研究演習 II	2			3	
3222026B4	心身健康学卒業演習 I	2			4	
3222027B4	心身健康学卒業演習 II	2			4	

(注1) 対象年次は履修するのに適切な学年のことで、それ未満の学生は履修できません。

(注2) 科目名の前に※を付した科目は、入学年度により履修できる科目、必修区分、対象年次が異なるものですので、特にご注意ください。

科目 ナンバリング コード	科目名	単 位			対象 年次	履修上の注意事項
		必修	選必	選択		
3222028F4	卒業研究Ⅰ	6			4	
3222029F4	卒業研究Ⅱ	6			4	
心身健康学科臨床心理学コース専門教育科目						
3223002A3	※心理療法学 (心理学的支援法)	2			3	平成30年度以降入学生対象
3223003A3	※学校臨床心理学	2			3	令和6年度以前入学生対象
			2		2	令和7年度以降入学生対象
3223005A3	※感情・人格心理学	2			3	平成30年度以降入学生対象
3223007A3	※臨床心理学概論	2			3	平成30年度以降入学生対象
3223009B3	※心理検査法 (心理的アセスメント)	2			3	平成30年度以降入学生対象
3223011B3	※心理学統計法	2			3	平成30年度以降入学生対象
3223012A3	※公認心理師の職責		2		3	平成30年度以降入学生対象
3223013A3	※精神疾患とその治療		2		3	令和6年度以前入学生対象
		2			3	令和7年度以降入学生対象
3223014A3	※神経・生理心理学		2		3	平成30年度以降入学生対象
3223015A3	※健康・医療心理学		2		3	平成30年度以降入学生対象
3223016A3	※関係行政論		2		3	平成30年度以降入学生対象
3223116E3	※心理学研究法		2		3	平成30年度以降入学生対象
3223017B3	※心理演習		2		3	平成30年度以降入学生対象
3223019D3	※臨床心理学実習 (心理実習B)		2		3	平成30年度以降入学生対象
3223021B3	※心理学実験演習 (心理学実験)		2		3	平成30年度以降入学生対象
3223022B3	心身健康学研究演習Ⅰ	2			3	
3223023B3	心身健康学研究演習Ⅱ	2			3	
3223024B4	心身健康学卒業演習Ⅰ	2			4	
3223025B4	心身健康学卒業演習Ⅱ	2			4	

(注1) 対象年次は履修するのに適切な学年のことで、**それ未満の学生は履修できません。**

(注2) **科目名の前に※を付した科目は、入学年度により履修できる科目、必修区分、対象年次が異なるものですので、特にご注意ください。**

科目 ナンバリング コード	科 目 名	単 位			対象 年次	履修上の注意事項
		必修	選必	選択		
3223026F4	卒 業 研 究 I	6			4	
3223027F4	卒 業 研 究 II	6			4	

(注1) 対象年次は履修するのに適切な学年のことで、**それ未満の学生は履修できません。**

(注2) **科目名の前に※を付した科目は、**入学年度により履修できる科目、必修区分、対象年次が異なるものですので、**特にご注意ください。**

3. 住環境学科

科目 ナンバリング コード	科 目 名	単 位			対象 年次	履修上の注意事項
		必修	選必	選択		
学部共通科目						
3100001A1	生活環境学原論		2		1	
3100003A1	児 童 学			2	1	本年度開講せず
3100004A1	家庭機械・家庭電気・ 情報処 理			2	1	本年度開講せず。令和5年度以前 入学生対象
3100020A2	※ジェンダー文化論		2		2	生活文化学科以外対象
3100024A1	心身健康学概論Ⅰ		2		1	
3100026A1	※心身健康学概論Ⅱ (心理学概論)		2		1	平成30年度以降入学生対象
住環境学科専門科目						
住環境学科専門基盤科目 (他学科開講科目を修得した場合も住環境学科専門基盤科目の修得単位として算入されます)						
3240006A1	住 環 境 学 概 論	2			1	
3261004A1	衣 環 境 学 概 論		2		1	令和4年度以降入学生は文化情報 学科生活文化学コース開講科目
3261005D1	被服学実習Ⅰ(C)			1	1	令和4年度以降入学生は文化情報 学科生活文化学コース開講科目
3261006D1	被服学実習Ⅱ(C)			1	1	令和4年度以降入学生は文化情報 学科生活文化学コース開講科目
3260008A2	家 族 関 係 論		2		2	令和4年度以降入学生は文化情報 学科開講科目
3261019A2	生 活 経 営 学		2		2	令和4年度以降入学生は文化情報 学科生活文化学コース開講科目
3261001A1	食 物 科 学 概 論		2		1	令和4年度以降入学生は文化情報学科生活 文化学コース開講科目
3261002D1	調 理 学 実 習 (E)			1	1	令和4年度以降入学生は文化情報 学科生活文化学コース開講科目
3261003D1	応用調理学実習(E)			1	1	令和4年度以降入学生は文化情報 学科生活文化学コース開講科目
3221004A2	育 児 学			2	2	心身健康学科生活健康学コース開 講科目
住環境学科専門教育科目						
3241002A1	住 生 活 学	2			1	
3241003A1	※建 築・住 居 史	2			1	令和5年度以前入学生対象
3241073A1	※建 築 史 Ⅰ	2			1	令和6年度以降入学生対象

(注1) 対象年次は履修するのに適切な学年のことで、**それ未満の学生は履修できません。**

(注2) 科目名の前に※を付した科目は、入学年度により履修できる科目、必修区分、対象年次が異なるものですので、特にご注意ください。

科目 ナンバリング コード	科目名	単 位			対象 年次	履修上の注意事項
		必修	選必	選択		
3241004A2	※ 建 築 ・ 住 宅 論		2		2	令和5年度以前入学生対象
3241074A2	※ 建 築 史 II		2		2	令和6年度以降入学生対象
3241005D3	※ 測 量 学 実 習		2		3	本年度開講せず。令和3年度以前入学生対象
3241006A2	建 築 環 境 学	2			2	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> 選択必修科目のうち、必修科目として、「建築構造計画学」・「木造建築構造学」のどちらか1科目、「建築施工学」・「建築生産デザイン学演習/建築生産」のどちらか1科目、計3単位も履修しなければならない(当該単位は、必修科目の単位となり、選択必修科目の単位とならない)。 </div>
3241007D3	建 築 環 境 学 実 習		1		3	
3241008E2	建 築 装 備 学 I	2			2	
3241009E2	建 築 装 備 学 II		2		2	
3241010D3	建 築 装 備 学 実 習		1		3	
3241011A1	※ 空 間 デ ザ イン 学	2			1	令和2年度以降入学生対象
3241012A2	※ 住 居 デ ザ イン 学		2		2	令和2年度以降入学生対象
3241013A1	建 築 材 料 学	2			1	
3241014D3	※ 建 築 材 料 学 実 習		1		3	本年度開講せず。令和3年度以前入学生対象
3241015A2	住 居 管 理 学	2			2	
3241016A3	住居管理学(応用編)		2		3	
3241017D2	住居管理学実習I	1			2	
3241018D3	住居管理学実習II		1		3	
3241019A1	※ 建 築 計 画 学	2			1	令和2年度以降入学者対象
3241019A2	※ 建 築 計 画 学	2			2	本年度開講せず。平成31年度入学生対象
3241020A2	※ 住 環 境 計 画 学		2		2	本年度開講せず。平成30年度以前入学生対象
3241021A3	※ 生 活 空 間 解 析 学 I	2			3	平成30年度以前入学生対象
3241023A3	※ 生 活 空 間 計 画 学				3	平成31年度～令和3年度入学生対象
			2		3	令和4年度以降入学生対象
3241024A3	都 市 計 画 学	2			3	

(注1) 対象年次は履修するのに適切な学年のことで、それ未満の学生は履修できません。

(注2) 科目名の前に※を付した科目は、入学年度により履修できる科目、必修区分、対象年次が異なるものですので、特にご注意ください。

科目 ナンバリング コード	科 目 名	単 位			対象 年次	履修上の注意事項
		必修	選必	選択		
3241025A2	地 域 居 住 学		2		2	
3241026A2	緑 地 環 境 計 画 論	2			2	
3241027A3	ラ ン ド ス ケ ー プ ・ デ ザ イ ン 論		2		3	
3241028A3	※ 福 祉 住 環 境 学		2		3	平成31年度以前、令和3年度以降 入学生対象
			2		2	令和2年度入学生対象
3241029D1	住 環 境 造 形 実 習	2			1	
3241030B2	※ 設 計 演 習 I	2			2	令和3年度以前入学生対象
		3			2	令和4年度以降入学生対象
3241031B2	設 計 演 習 II	3			2	
3241032B3	設 計 演 習 III	3			3	
3241033B3	設 計 演 習 IV		3		3	
3241034B4	設 計 演 習 V		3		4	
3241035A1	建 築 一 般 構 造 学	2			1	
3241036E3	建 築 構 造 力 学 ・ 材 料 力 学 演 習	4			3	
3241037E2	建 築 構 造 計 画 学		1		2	本年度開講せず
3241038A2	木 造 建 築 構 造 学		1		2	
3241039D3	建 築 構 造 学 実 習		1		3	
3241040D3	住 環 境 工 学 実 習	2			3	
3241065A4	不 静 定 構 造 力 学		1		4	
3241066E4	不 静 定 構 造 力 学 演 習		1		4	
3241067A4	建 築 振 動 論		2		4	
3241041A3	住 環 境 法 規	1			3	
3241042A1	住 環 境 学 の 技 術 者 倫 理	2			1	
3241043A3	建 築 設 備 学	2			3	

(注1) 対象年次は履修するのに適切な学年のことで、**それ未満の学生は履修できません。**

(注2) **科目名の前に※を付した科目は、入学年度により履修できる科目、必修区分、対象年次が異なるものですので、特にご注意ください。**

科目 ナンバリング コード	科目名	単 位			対象 年次	履修上の注意事項
		必修	選必	選択		
3241044A3	インテリアデザイン		2		3	
3241045B2	※CAD演習	1			2	令和3年度以前入学生対象
			1		2	令和4年度以降入学生対象
3241046B3	※デジタルデザイン演習		1		3	平成29年度以降入学生対象
3241047A2	建築施工学		2		2	
3241048B2	※建築生産デザイン学演習		2		2	本年度開講せず。令和3年度以前入学生対象
3241071B2	※建築生産		2		2	本年度開講せず。令和4年度以降入学生対象
3241049B1	※建築図学		2		1	本年度開講せず。令和3年度以前入学生対象
3241050D2	※住環境デザイン基礎		1		2	本年度開講せず。令和3年度以前入学生対象
3241052B1	※空間計画のための物理環境科学演習	3			1	平成28年度～令和3年度入学生対象
3241072B1		2			1	令和4年度以降入学生対象
3241055D3	※住環境学学外実習(インターンシップ)Ⅰ		2		3	平成28年度以降入学生対象
3241056D3	住環境学学外実習(インターンシップ)Ⅱ		1		3	
3241057B3	住環境学学外演習(合宿演習)			1	3	
3241059B1	住環境学フィールド演習Ⅳ			1	1	本年度開講せず。令和4年度以前入学生対象
3241068B1	※空間表現演習	2			1	令和4年度以降入学生対象
3241069B3	まちづくり演習A		2		3	
3241070B4	まちづくり演習B		2		4	
3241060D3	住環境学基礎実習	2			3	
3241061F4	卒業研究Ⅰ(論文)	6			4	論文を選択する場合
3241062F4	卒業研究Ⅰ(設計)	6			4	設計を選択する場合
3241063F4	卒業研究Ⅱ(論文)	6			4	論文を選択する場合
3241064F4	卒業研究Ⅱ(設計)	6			4	設計を選択する場合

住環境学学外実習、同Ⅰ、同Ⅱのうち、卒業要件単位に含むことができるのは2単位まで

(注1) 対象年次は履修するのに適切な学年のことで、**それ未満の学生は履修できません。**

(注2) 科目名の前に※を付した科目は、入学年度により履修できる科目、必修区分、対象年次が異なるものですので、特にご注意ください。

4. 文化情報学科

科目 ナンバリング コード	科 目 名	単 位			対象 年次	履修上の注意事項
		必修	選必	選択		
学部共通科目						
3100001A1	生活環境学原論	2			1	
3100003A1	児 童 学			2	1	本年度開講せず
3100004A1	家庭機械・家庭電気・ 情 報 処 理			2	1	本年度開講せず。令和5年度以前 入学生対象
文化情報学科共通科目						
3260001A1	文化情報学概論	2			1	
3260002A1	社 会 事 業 史		2		1	本年度開講せず
3260003A1	生活の情報管理とシステム		2		1	
3260004A2	ジェンダー文化論	2			2	
3260005A2	ジェンダー理論		2		2	
3260006A2	ソーシャルリサーチ論		2		2	
3260007A2	消 費 者 法		2		2	
3260008A2	家 族 関 係 論		2		2	
3260009A2	食と農の経済学		2		2	
3260010A2	人間関係文化論		2		2	
3260011A1	生活と情報倫理		2		1	
3260012A1	生活文化と人工知能		2		1	
3260013A1	応用数学Ⅰ(微分積分学)		2		1	
3260014A1	応用数学Ⅱ(線型代数学)		2		1	
3260015A1	生活と統計学		2		1	
3260016A2	情 報 社 会 学		2		2	
3260017A2	情 報 と 職 業		2		2	
3260018B2	文化情報学演習		2		2	

(注1) 対象年次は履修するのに適切な学年のことで、それ未満の学生は履修できません。

(注2) 科目名の前に※を付した科目は、入学年度により履修できる科目、必修区分、対象年次が異なるものですので、特にご注意ください。

科目 ナンバリング コード	科 目 名	単 位			対象 年次	履修上の注意事項
		必修	選必	選択		
3260019A3	経営データサイエンス	2			3	
3260020A3	失敗学と創造学		2		3	
生活文化学コース専門教育科目						
3261001A1	食 物 科 学 概 論		2		1	
3261002D1	調 理 学 実 習 (E)			1	1	
3261003D1	応用調理学実習 (E)			1	1	
3261004A1	衣 環 境 学 概 論		2		1	
3261042D1	被服学実習 I (A)			1	1	食物栄養学科、文化情報学科対象
3261043D1	被服学実習 II (A)			1	1	食物栄養学科、文化情報学科対象
3261005D1	被服学実習 I (C)			1	1	住環境学科、心身健康学科対象
3261006D1	被服学実習 II (C)			1	1	住環境学科、心身健康学科対象
3240006A1	住 環 境 学 概 論		2		1	住環境学科開講科目
3221004A2	育 児 学		2		2	心身健康学科生活健康学コース開講科目
3261007A1	家 族 援 助 法		2		1	
3261008A1	経 済 政 策		2		1	
3261009A1	生 活 文 化 学 入 門		2		1	
3261010B1	生 活 文 化 学 の 方 法		2		1	
3261011A1	食 生 活 文 化 論		2		1	
3261012A1	住 生 活 文 化 論		2		1	本年度開講せず
3261013A1	消 費 経 済 分 析 論		2		1	
3261014A2	※社会システム論		2		2	令和6年度以前入学生対象
			2		1	令和7年度以降入学生対象
3261015A2	服 飾 と ジ ェ ン ダ ー		2		2	
3261016A2	視 覚 文 化 論		2		2	

(注1) 対象年次は履修するのに適切な学年のことで、**それ未満の学生は履修できません。**

(注2) **科目名の前に※を付した科目は、入学年度により履修できる科目、必修区分、対象年次が異なるものですので、特にご注意ください。**

科目 ナンバリング コード	科 目 名	単 位			対象 年次	履修上の注意事項
		必修	選必	選択		
3261017A2	※医療社会文化史		2		2	令和6年度以前入学生対象
			2		1	令和7年度以降入学生対象
3261018A2	社会統計学		2		2	
3261019A2	生活経営学		2		2	
3261020A2	経済原論Ⅰ (ミクロ経済学)		2		2	
3261021A2	経済原論Ⅱ (マクロ経済学)		2		2	
3261022A2	※女性生活史		2		2	令和6年度以前入学生対象
			2		1	令和7年度以降入学生対象
3261023A2	人口と家族の社会学		2		2	本年度開講せず
3261024A2	生活経済学		2		2	
3261025A2	ライフスタイルと法		2		2	
3261026A2	Multicultural Society		2		2	
3261027B2	消費者法演習		2		2	
3261044B2	企業経済論演習		2		2	
3261028B2	視覚文化論演習		2		2	
3261029B3	ジェンダー文化論演習		2		3	
3261030B3	人間関係論演習		2		3	
3261031B3	人間関係文化論外書購読		2		3	
3261032B3	家族関係論演習		2		3	
3261033B3	※生活文化史演習		2		3	令和5年度以前入学生対象
			2		1	令和6年度以降入学生対象
3261034B3	※社会システム論演習		2		3	令和5年度以前入学生対象
			2		1	令和6年度以降入学生対象
3261035B3	生活経済学演習		2		3	

(注1) 対象年次は履修するのに適切な学年のことで、**それ未満の学生は履修できません。**

(注2) **科目名の前に※を付した科目は、入学年度により履修できる科目、必修区分、対象年次が異なるものですので、特にご注意ください。**

科目 ナンバリング コード	科目名	単 位			対象 年次	履修上の注意事項
		必修	選必	選択		
3261036B3	生活文化学演習	2			3	
3261037D3	インターンシップ実習 (生活文化学)			1	3	卒業要件を満たす単位に含まない
3261038B4	生活文化学卒業演習Ⅰ	2			4	
3261039B4	生活文化学卒業演習Ⅱ	2			4	
3261040F4	卒業研究Ⅰ	6			4	
3261041F4	卒業研究Ⅱ	6			4	
文化情報学科生活情報通信科学コース専門教育科目						
3262001A1	プログラミング言語Ⅰ	2			1	
3262002B1	プログラミング言語演習	2			1	
3262003B2	プログラミング言語Ⅱ	2			2	
3262004A1	離散数学		2		1	
3262005B1	情報処理技術Ⅰ	2			1	
3262006B1	情報処理技術Ⅱ		2		1	
3262007A1	データベース論		2		1	
3262008B1	データベース演習		2		1	
3262009A1	アルゴリズムとデータ構造	2			1	
3262010A2	※論理回路論	2			2	令和5年度以前入学生対象
		2			3	令和6年度以降入学生対象
3262011A2	計算機アーキテクチャ論	2			2	
3262012A2	生活と情報理論	2			2	
3262013A2	※計算機ネットワーク		2		2	令和5年度以前入学生対象
			2		3	令和6年度以降入学生対象
3262014C2	計算機実験Ⅰ	2			2	
3262015C2	計算機実験Ⅱ	2			2	

(注1) 対象年次は履修するのに適切な学年のことで、それ未満の学生は履修できません。

(注2) 科目名の前に※を付した科目は、入学年度により履修できる科目、必修区分、対象年次が異なるものですので、特にご注意ください。

科目 ナンバリング コード	科 目 名	単 位			対象 年次	履修上の注意事項
		必修	選必	選択		
3262016A2	※ ソフトウェア工学概論		2		2	令和5年度以前入学生対象
			2		3	令和6年度以降入学生対象
3262017A2	※ ヒューマンインター フェース概論		2		2	令和5年度以前入学生対象
			2		3	令和6年度以降入学生対象
3262018A3	言語処理系論		2		3	
3262019A3	オペレーティング システム論		2		3	
3262020A3	パターン認識		2		3	
3262021A3	ソーシャルコン ピューティング論		2		3	
3262022A3	生活と数理論理学		2		3	
3262023A2	生活と人工知能		2		2	
3262024A3	グラフ理論		2		3	
3262038B3	生活と人工知能演習		2		3	
3262039A3	生活者目線と人間中心 デザイン		2		3	
3262040A3	情報セキュリティ		2		3	
3262025B1	プログラミング特別演習Ⅰ		2		1	
3262026B1	プログラミング特別演習Ⅱ		2		1	
3262027B1	プログラミング特別演習Ⅲ		2		1	本年度開講せず
3262028B1	プログラミング特別演習Ⅳ		2		1	本年度開講せず
3262029B1	プログラミング特別演習Ⅴ		2		1	本年度開講せず
3262030B1	プログラミング特別演習Ⅵ		2		1	本年度開講せず
3262031B1	プログラミング特別演習Ⅶ		2		1	本年度開講せず
3262032B1	プログラミング特別演習Ⅷ		2		1	本年度開講せず
3262033B3	情報処理技術特別演習		2		3	
3262034F3	卒業研究Ⅰ		5		3	
3262035F3	卒業研究Ⅱ		5		3	
3262036F4	卒業研究Ⅲ	5			4	
3262037F4	卒業研究Ⅳ	5			4	

(注1) 対象年次は履修するのに適切な学年のことで、**それ未満の学生は履修できません。**

(注2) **科目名の前に※を付した科目は、入学年度により履修できる科目、必修区分、対象年次が異なるものですので、特にご注意ください。**

5. 情報衣環境学科

科目 ナンバリング コード	科 目 名	単 位			対象 年次	履修上の注意事項
		必修	選必	選択		
学部共通科目						
3100001A1	生活環境学原論	2			1	
3100003A1	※児童学		2		1	本年度開講せず
				2	1	本年度開講せず。情報衣環境学科平成30年度以降入学生対象
3100004A1	※家庭機械・家庭電気・情報処理		2		1	本年度開講せず。令和5年度以前入学生対象
				2	1	本年度開講せず。情報衣環境学科平成30年度以降入学生対象
3100020A2	※ジェンダー文化論		2		2	令和3年度以降入学生対象
				2	2	情報衣環境学科平成30年度以降入学生対象
情報衣環境学科共通						
3230001A1	情報衣環境学概論	2			1	本年度開講せず
3230002A1	応用数学Ⅰ(微分積分学)		2		1	
3230003A1	応用数学Ⅱ(線型代数学)		2		1	
3230004A2	※形態情報論		2		2	平成31年度以降入学生対象
3230005B2	図学		2		2	本年度開講せず
3230006A2	マーケティング論		2		2	本年度開講せず
3230007A3	ウェアラブルインターフェースデザイン論	2			3	本年度開講せず
3230008A3	創造学		2		3	本年度開講せず
3230009A1	生活と情報倫理		2		1	本年度開講せず
3230010A1	情報学概論	2			1	本年度開講せず
3230011A1	情報セキュリティと法務	2			1	本年度開講せず
3230012A1	生活と統計学		2		1	
3230013A2	情報と職業		2		2	
3230014A3	経営工学		2		3	

(注1) 対象年次は履修するのに適切な学年のことで、**それ未満の学生は履修できません。**

(注2) **科目名の前に※を付した科目は、入学年度により履修できる科目、必修区分、対象年次が異なるものですので、特にご注意ください。**

科目 ナンバリング コード	科 目 名	単 位			対象 年次	履修上の注意事項
		必修	選必	選択		
3230015A3	失 敗 学		2		3	
情報衣環境学科衣環境学コース専門教育科目 (他学科開講科目を修得した場合も情報衣環境学科専門基盤科目の修得単位として算入されます)						
3231001A1	衣 環 境 学 概 論	2			1	
3231002D1	被服学実習Ⅰ(D)		1		1	本年度開講せず。情報衣環境学科対象
3231004D1	被服学実習Ⅱ(D)		1		1	本年度開講せず。情報衣環境学科対象。履修希望の場合は学務課へ
3221001A1	食 物 科 学 概 論		2		1	
3221014D1	調 理 学 実 習 (G)		1		1	本年度開講せず。履修希望の場合は学務課へ
3221002A1	住 環 境 学 概 論		2		1	心身健康学科生活健康学コース開講科目
3231006A2	家 族 関 係 学		2		2	本年度開講せず
3231008A2	生 活 経 済 経 営 学		2		2	本年度開講せず
3231009A2	※ 育 児 学			2	2	情報衣環境学科平成31年度以降入学生対象
3231010A2	衣 環 境 管 理 学	2			2	
3231011A2	生 活 と 感 覚 計 測 論	2			2	本年度開講せず
3231012A2	ア パ レ ル 工 学		2		2	
3231013A2	※ 生 活 界 面 化 学		2		2	平成30年度以降入学生対象
3231014C2	衣環境学実験Ⅰ(物理)	2			2	本年度開講せず
3231015C2	衣環境学実験Ⅱ(化学)	2			2	本年度開講せず
3231016D2	衣環境デッサントレーニング		2		2	本年度開講せず
3231018D2	※ 形 態 情 報 論 実 習		2		2	平成31年度以降入学生対象
3231019A2	衣 環 境 造 形 学		2		2	本年度開講せず
3231020D2	衣 環 境 造 形 学 実 習		2		2	本年度開講せず
3231022A3	織 維 状 材 料 性 能 論	2			3	本年度開講せず
3231023A3	生 活 材 料 物 性 学	2			3	本年度開講せず
3231026C3	衣環境学実験Ⅲ(物理)		2		3	

(注1) 対象年次は履修するのに適切な学年のことで、**それ未満の学生は履修できません。**

(注2) **科目名の前に※を付した科目は、入学年度により履修できる科目、必修区分、対象年次が異なるものですので、特にご注意ください。**

科目 ナンバリング コード	科目名	単 位			対象 年次	履修上の注意事項
		必修	選必	選択		
3231027C3	衣環境学実験Ⅳ（化学）		2		3	本年度開講せず
3231029A2	※生活と多変量解析		2		2	平成30年度以降入学生対象
3231030A3	※デザイン情報論	2			3	本年度開講せず。平成30年度以降入学生対象
3231031D3	ウェアラブル情報 デザイン実習		2		3	本年度開講せず
3231032B3	論文講読演習		2		3	本年度開講せず
3231033A3	※繊維材料化学	2			3	本年度開講せず。令和2年度以前入学生対象
3231035B3	衣環境学演習Ⅰ	2			3	本年度開講せず
3231036B4	衣環境学演習Ⅱ	2			4	本年度開講せず
3231037F4	卒業研究Ⅰ	6			4	本年度開講せず
3231038F4	卒業研究Ⅱ	6			4	
情報衣環境学科生活情報通信科学コース専門教育科目						
3232001A1	プログラミング言語Ⅰ	2			1	本年度開講せず
3232002B1	プログラミング言語演習	2			1	本年度開講せず
3232003B2	プログラミング言語Ⅱ	2			2	本年度開講せず
3232004A1	離散数学		2		1	
3232005B1	情報処理技術Ⅰ	2			1	本年度開講せず
3232006B1	情報処理技術Ⅱ		2		1	本年度開講せず
3232007A1	データベース論		2		1	本年度開講せず
3232008B1	データベース演習		2		1	本年度開講せず
3232009A1	アルゴリズムとデータ構造	2			1	本年度開講せず
3232010A2	論理回路論	2			2	本年度開講せず
3232011A2	計算機アーキテクチャ論	2			2	
3232012A2	情報理論	2			2	本年度開講せず
3232013A2	計算機ネットワーク		2		2	

（注1）対象年次は履修するのに適切な学年のことで、それ未満の学生は履修できません。

（注2）科目名の前に※を付した科目は、入学年度により履修できる科目、必修区分、対象年次が異なるものですので、特にご注意ください。

科目 ナンバリング コード	科 目 名	単 位			対象 年次	履修上の注意事項
		必修	選必	選択		
3232014C2	計 算 機 実 験 1	2			2	
3232015C2	計 算 機 実 験 2	2			2	本年度開講せず
3232016A2	ソフトウェア工学概論		2		2	本年度開講せず
3232017A2	ヒューマンインター フェイス 概 論		2		2	本年度開講せず
3232018A2	情 報 社 会 学		2		2	本年度開講せず
3232019A3	プロジェクト管理と システム 監 査		2		3	本年度開講せず
3232020A3	言 語 処 理 系 論		2		3	
3232021A3	オペレーティング システム 論		2		3	
3232022A3	パ タ ー ン 認 識		2		3	
3232023A3	マルチメディア情報工学		2		3	本年度開講せず
3232024A3	数 理 論 理 学		2		3	
3232025A2	人 工 知 能		2		2	本年度開講せず
3232026A3	シミュレーション科学		2		3	
3232027A3	グ ラ フ 理 論		2		3	
3232028A3	数 理 モ デ リ ン グ		2		3	本年度開講せず
3232029A3	数 値 解 析		2		3	
3232030A3	数 式 処 理 論		2		3	本年度開講せず
3232031B2	プログラミング特別演習 I		2		2	
3232032B2	プログラミング特別演 II		2		2	
3232036B3	情報処理技術特別講義 III		2		3	
3232041F3	卒 業 研 究 I		5		3	本年度開講せず
3232042F3	卒 業 研 究 II		5		3	本年度開講せず
3232043F4	卒 業 研 究 III	5			4	本年度開講せず
3232044F4	卒 業 研 究 IV	5			4	

(注1) 対象年次は履修するのに適切な学年のことで、**それ未満の学生は履修できません。**

(注2) **科目名の前に※を付した科目は、入学年度により履修できる科目、必修区分、対象年次が異なるものですので、特にご注意ください。**

6. 生活文化学科

科目 ナンバリング コード	科 目 名	単 位			対象 年次	履修上の注意事項
		必修	選必	選択		
学部共通科目						
3100001A1	生活環境学原論		2		1	
3100003A1	児 童 学			2	1	本年度開講せず
3100004A1	家庭機械・家庭電気・ 情 報 処 理			2	1	本年度開講せず。令和5年度以前 入学生対象
3100020A2	※ジェンダー文化論		2		2	生活文化学科以外対象
3100024A1	心身健康学概論Ⅰ		2		1	
3100026A1	※心身健康学概論Ⅱ (心理学概論)		2		1	平成30年度以降入学生対象
生活文化学科専門科目						
生活文化学科専門基盤科目 (他学科開講科目を修得した場合も生活文化学科専門基盤科目の修得単位として算入されます)						
3250001A1	生活文化学入門		2		1	
3250002A1	食物科学概論		2		1	本年度開講せず
3250003D1	調理学実習(E)			1	1	本年度開講せず
3250004D1	応用調理学実習(E)			1	1	本年度開講せず
3100011A1	衣環境学概論		2		1	本年度開講せず
3100016D1	被服学実習Ⅰ(C)			1	1	本年度開講せず。履修希望者は学 務課窓口へ
3100017D1	被服学実習Ⅱ(C)			1	1	本年度開講せず。履修希望者は学 務課窓口へ
3240006A1	住環境学概論		2		1	住環境学科開講科目
3221004A2	育 児 学			2	2	本年度開講せず。心身健康学科生 活健康学コース開講科目
生活文化学科専門教育科目						
3251001A2	ソーシャルリサーチ論		2		2	本年度開講せず
3251003D2	社 会 統 計 学		2		2	本年度開講せず
3251064A2	ジェンダー理論		2		2	
3251005A2	※ジェンダー文化論		2		2	本年度開講せず。生活文化学科令 和3年度以降入学生対象

(注1) 対象年次は履修するのに適切な学年のことで、**それ未満の学生は履修できません。**

(注2) 科目名の前に※を付した科目は、入学年度により履修できる科目、必修区分、対象年次が異なるものですので、特にご注意ください。

科目 ナンバリング コード	科 目 名	単 位			対象 年次	履修上の注意事項
		必修	選必	選択		
3251006B2	ジェンダー文化論演習		2		2	
3251007A1	※家族・ジェンダー論		2		1	本年度開講せず。平成30年度入学生対象
3251009A2	※ジェンダーと法		2		2	本年度開講せず。平成28年度以降入学生対象
3251010B2	ジェンダー法文化史演習		2		2	本年度開講せず
3251011A2	西洋女性生活史		2		2	本年度開講せず
3251012E2	人間関係文化論		2		2	
3251013B3	人間関係論演習		2		3	
3251014B3	人間関係文化論外書講読		2		3	
3251015A1	※生活文化人類学		2		1	本年度開講せず。平成30年度以前入学生対象
3251016B1	※生活誌演習A		1		1	本年度開講せず。平成30年度以前入学生対象
3251017B1	※生活誌演習B		1		1	本年度開講せず。平成30年度以前入学生対象
3251018B1	※衣生活文化論演習		2		1	本年度開講せず。平成29年度以前入学生対象
3251019D1	※フィールド調査実習		1		1	本年度開講せず。平成29年度以前入学生対象
3251020B1	※フィールド英語演習A		1		1	本年度開講せず。平成30年度以前入学生対象
3251021B1	※フィールド英語演習B		1		1	本年度開講せず。平成30年度以前入学生対象
3251022A2	医療社会文化史		2		2	
3251023B3	生活文化史演習		2		3	
3251024A2	女性生活史		2		2	
3251025A1	※家族システム論		2		1	本年度開講せず。平成31年度以前入学者対象
3251026A1	※家族問題論		2		1	本年度開講せず。平成30年度以前入学生対象
3251027A2	家族関係論		2		2	本年度開講せず。生活文化学科対象
3251028B3	家族関係論演習		2		3	本年度開講せず
3251128A2	人口と家族の社会学		2		2	本年度開講せず
3251029A1	家族援助法		2		1	

(注1) 対象年次は履修するのに適切な学年のことで、**それ未満の学生は履修できません。**

(注2) **科目名の前に※を付した科目は、入学年度により履修できる科目、必修区分、対象年次が異なるものですので、特にご注意ください。**

科目 ナンバリング コード	科目名	単 位			対象 年次	履修上の注意事項
		必修	選必	選択		
3251030A2	社会システム論		2		2	
3251031B3	社会システム論演習		2		3	
3251032A1	食生活文化論		2		1	
3251033A1	住生活文化論		2		1	本年度開講せず
3251034A2	生活経済学		2		2	
3251035B3	生活経済学演習		2		3	
3251036A1	※医療社会学		2		1	本年度開講せず。平成30年度以前入学生対象
3251037A2	食と農の経済学		2		2	
3251038A2	消費者法		2		2	
3251039B2	消費者法演習		2		2	
3251040A2	生活経営学		2		2	本年度開講せず。生活文化学科対象
3251041A1	生活の情報管理 とシステム		2		1	
3251042A2	ライフスタイルと法		2		2	本年度開講せず
3251043A2	経済原論Ⅰ (ミクロ経済学)		2		2	
3251044A2	経済原論Ⅱ (マクロ経済学)		2		2	
3251064B2	企業経済論演習		2		2	
3251046A2	消費経済分析論		2		2	
3251047A1	経済政策		2		1	
3251048A1	社会事業史		2		1	本年度開講せず
3251050A2	視覚文化論		2		2	本年度開講せず
3251052B2	視覚文化論演習		2		2	本年度開講せず
3251053A2	服飾とジェンダー		2		2	
3251054A2	※多文化共生論		2		2	平成30年度以前入学生対象
3251063A2	※Multicultural Society		2		2	平成31年度以降入学生対象

(注1) 対象年次は履修するのに適切な学年のことで、それ未満の学生は履修できません。

(注2) 科目名の前に※を付した科目は、入学年度により履修できる科目、必修区分、対象年次が異なるものですので、特にご注意ください。

科目 ナンバリング コード	科 目 名	単 位			対象 年次	履修上の注意事項
		必修	選必	選択		
3251055B1	生活文化学の方法		2		1	
3251057B3	生活文化学演習	2			3	本年度開講せず
3251058B4	生活文化学卒業演習Ⅰ	2			4	本年度開講せず
3251059B4	生活文化学卒業演習Ⅱ	2			4	
3251060F4	卒業研究Ⅰ	6			4	本年度開講せず
3251061F4	卒業研究Ⅱ	6			4	
3251062D3	インターンシップ実習 (生活文化学)			1	3	卒業要件を満たす単位に含まない

(注1) 対象年次は履修するのに適切な学年のことで、**それ未満の学生は履修できません。**

(注2) **科目名の前に※を付した科目は、入学年度により履修できる科目、必修区分、対象年次が異なるものですので、特にご注意ください。**

14. 生活環境学部専門教育科目時間割表

曜日	時限	生活環境学部共通(前期)		生活環境学部共通(後期)	
		担当教員	授 業 科 目	担当教員	授 業 科 目
月	1・2	高村ほか	食物科学概論(学部共通科目)	全教員	生活環境学原論
	3・4	鷹股ほか 〈山本(展)〉	心身健康学概論 I 育児学		
	5・6				
	7・8	〈古田〉	被服学実習 I (C)		
	9・10			〈古田〉	被服学実習 II (A)
火	1・2				
	3・4				
	5・6				
	7・8				
	9・10				
水	1・2				
	3・4				
	5・6				
	7・8	〈武智〉	調理学実習(E) (7～9時限)	〈中村〉	被服学実習 II (C)
	9・10			〈武智〉	応用調理学実習(E) (7～9時限)
木	1・2	岡 田 〈中村〉	家族関係論 被服学実習 I (A)		
	3・4	伊藤ほか	心身健康学概論 II (心理学概論)		
	5・6				
	7・8	根本ほか	住環境学概論(学部共通科目)		
	9・10				
金	1・2				
	3・4			原田ほか	衣環境学概論
	5・6	林 田	ジェンダー文化論		
	7・8				
	9・10				
集中・ その他				〈花輪〉	生活経営学(後期集中)

〈 〉 の担当教員は非常勤講師

曜日	時限	食物栄養学科(前期)		食物栄養学科(後期)	
		担当教員	授 業 科 目	担当教員	授 業 科 目
月	1・2	高村ほか	食物科学概論	学科全教員	食物栄養学研究法
	3・4	福井 (山本(展))	有機化学Ⅰ 育児学	菊崎 高村	食品化学総論 調理科学
	5・6				
	7・8			(和田)	応用調理学実習(D) (7～9時限)
	9・10			(古田)	被服学実習Ⅱ(A)
火	1・2	小栗	臨床栄養学Ⅰ	稲田	分子病態学
	3・4	小栗 高村	臨床栄養学総論 基礎化学演習		
	5・6	高村 前田	食品加工学 微生物学	稲田	病態内科学
	7・8	高地	公衆衛生学	前田	食品衛生学
	9・10				
水	1・2	中田(理) 小倉	応用栄養学Ⅱ 応用栄養生理学	小倉	生体安全学
	3・4	福井 (今井)	生化学Ⅰ 臨床栄養学Ⅱ		
	5・6	高地 稲井	公衆栄養学Ⅰ 栄養教育論Ⅲ	高地 福井	公衆栄養学Ⅱ 生化学Ⅱ
	7・8	稲井	栄養教育論Ⅰ	稲井	栄養教育論Ⅱ
	9・10	稲田	細胞生理学		
木	1・2	岡田 (中村)	家族関係論 被服学実習Ⅰ(A)		
	3・4	小倉 中田(理)	基礎生物学演習 栄養生化学	小倉 中田(理) 小栗	医学概論 応用栄養学Ⅰ 臨床栄養学Ⅲ
	5・6	高村 菊崎	食品化学各論 給食経営管理学Ⅰ		
	7・8	菊崎 前田 根本ほか	給食経営管理学Ⅱ 食品微生物学 住環境学概論		
	9・10				
金	1・2				
	3・4			原田ほか	衣環境学概論
	5・6				
	7・8	(和田)	調理学実習(D) (7～9時限)		
集中・ その他		中田(理) 稲井・小原 (安藤) 中田(理)・ほか 菊崎ほか 学科全教員	応用栄養学実習(前期集中) 栄養教育論実習(前期集中) 栄養教諭論(前期集中) 基礎栄養学実験(前期集中) 給食経営管理学実習(前期集中) 卒業研究Ⅰ(前期)	(長谷川) 高地 (安藤) 小栗ほか (花輪) 学科全教員	食糧経済学(後期集中) 生活福祉論(後期集中) 食に関する指導論(後期集中) 臨床栄養学臨地実習Ⅰ・Ⅱ(後期集中) 生活経営学(後期集中) 卒業研究Ⅱ(後期)
			高地・(佐伯)・(富岡)・(宮本)・環境と健康(集中) 高地・森田・公衆栄養学実習(集中) (未定)・基礎栄養学特別講義Ⅱ(集中) 学科全教員・栄養学総合演習(集中) 中田(理)・稲田・菅・病態生理・生化学実験(集中) D 2 2 5 高村・福井・食品化学実験(集中) D 2 2 5 小倉・前田・食品微生物学実験(集中) D 2 2 5 小倉・生体安全学実験(集中) D 2 2 5 小栗・齋藤・宮本・臨床栄養学実習(集中) 高村・齋藤・食品加工学実習(集中) 高地・菅・宮本・公衆栄養学臨地実習(集中) 菊崎・小原・森田・給食経営管理学臨地実習(集中)		

() の担当教員は非常勤講師

曜日	時限	心身健康学科(前期)		心身健康学科(後期)	
		担当教員	授 業 科 目	担当教員	授 業 科 目
月	1・2	高村ほか 岡 本	食物科学概論 司法・犯罪心理学		
	3・4	石坂ほか 梅 垣 (山本(展))	心身健康学概論 I 心理検査法(心理的アセスメント) 育児学	鷹 股 成 瀬 岡 本	女性健康論 身体表現実習 感情・人格心理学
	5・6	鍵 本 吉 本	環境人間工学 食健康論	吉 本 (魚田) 梅 垣	生活健康学基礎実験(5～8時限) 個人スポーツ実習 A 心理学統計法
	7・8	(古田)	被服学実習 I (C)		
	9・10	岡本ほか	公認心理師の職責		
火	1・2	鷹 股 (文) 狗巻	行動神経内分泌学/生活行動科学 障害者・障害児心理学	高 浪 (外木)	脳機能形態学 関係行政論
	3・4	石 坂 吉 本	生涯スポーツ論 自律神経科学	吉本ほか 石 坂	生活健康学概論 体育・スポーツ社会学
	5・6	臨床全教員 平 塚 (文) 高原 原 田	心身健康学研究演習 I (臨床心理学コース) 基礎運動実習 産業・組織心理学 衣環境学実験(5～8時限)	岡本ほか 横 山	心理学実験演習(心理学実験) ストレスの科学実習(5～8時限)
	7・8	横 山 成瀬ほか	生活内科学(人体の構造と機能及び疾病)(7・8時限) 心身健康学研究演習 I (スポーツ健康科学コース)(7・8時限)	平 塚 (松岡)	体育・スポーツ史(7・8時限) 健康・医療心理学(7・8時限)
	9・10	岡本ほか	心理演習		
水	1・2	鷹 股 高 浪 馬 場	人体生理学 被服生理学 家族心理学(社会・集団・家族心理学)	(未定) 原 田	スポーツ生理学 生活界面化学
	3・4	浅 野 白水ほか 原 田	生活行動変容論 精神疾患とその治療 衣環境管理学	黒 川 浅 野	発達臨床心理学(発達心理学) スポーツ心理学
	5・6			西 牧	食環境論
	7・8	(武智)	調理学実習(E)(7～9時限)	(中村)	被服学実習 II (C)
	9・10	(中山)	学校臨床心理学(9・10時限)		
木	1・2	藤 原 生活健康全教員 平 塚 岡 田	身体運動制御論 心身健康学研究演習 I (生活健康学コース) スポーツ政策論 家族関係論	藤 原	スポーツバイオメカニクス
	3・4	岡本ほか	心身健康学概論 II (心理学概論)	時 岡 藤 原 横 山	心理療法学(心理学的支援法) チームスポーツ実習 B 生活保健学/人間行動生理学
	5・6	星野ほか 高 浪	スポーツ健康科学演習 B 人体生理学実習(5～8時限)	平 塚 鷹 股	スポーツ法学 栄養学実験(5～8時限)
	7・8	根本ほか	住環境学概論(7・8時限)	スポーツ全教員	スポーツ健康科学演習 A (7・8時限)
	9・10			(高橋)	神経・生理心理学
金	1・2	(辰巳) 成 瀬	人体解剖学 身体コミュニケーション論	成 瀬 (文) 狗巻ほか	身体表現学 心理学研究法
	3・4	黒 川	臨床心理学概論	星 野 原田ほか	スポーツ精神生理学 衣環境学概論
	5・6			岡本ほか	臨床心理学実習(心理実習 B)(5～8時限)
	7・8	スポーツ全教員	スポーツ健康科学入門演習 I	スポーツ全教員	スポーツ健康科学入門演習 II (7・8時限)
	9・10			(文) 鈴木	福祉心理学
集中・ その他		(根岸) 浅野ほか (伊藤) 全教員 全教員 全教員	衛生・公衆衛生学(前期集中) シーズンスポーツ実習・夏(前期集中) 運動医学論(前期集中) 心身健康学研究演習 I 心身健康学卒業演習 I 卒業研究 I	平塚ほか (宮井) (四辻) (花輪) 全教員 全教員 全教員	シーズンスポーツ実習・冬(後期集中) 学校保健(後期集中) 教育臨床心理学(教育・学校心理学) 生活経営学(後期集中) 心身健康学研究演習 II 心身健康学卒業演習 II 卒業研究 II

() の担当教員は非常勤講師

曜日	時限	住環境学科(前期)		住環境学科(後期)	
		担当教員	授 業 科 目	担当教員	授 業 科 目
月	1・2	高村ほか	食物科学概論(1・2限)	藤 平	建築材料学
	3・4	吉田(伸)ほか 〈山本(展)〉	住環境工学実習(1～4時限) 育児学		
	5・6	吉田(伸)	建築設備学	吉田(伸)	建築環境学
	7・8	根本ほか 〈古田〉	空間表現演習 被服学実習 I (C)	住環境全教員	住環境学の技術者倫理
	9・10				
火	1・2			※	下記「集中・その他」欄の注1～4 を参照のこと(1～4時限)
	3・4	室 崎	福祉住環境学	吉田(伸)ほか	空間計画のための物理環境科学演習 ／空間計画のための物理環境科学演習 I(後期集中)(5～10時限)
	5・6	角 田	建築構造力学・材料力学演習 (5～8時限)		
	7・8	室 崎	住生活学	〈中山〉	地域居住学
	9・10				
水	1・2	藤 平	住居管理学	許	建築装備学Ⅱ
	3・4	許 藤 平	建築装備学Ⅰ 住居管理学(応用編)	山 本	建築計画学
	5・6	〈近藤(陽)・辻村〉	インテリアデザイン	〈未定〉	建築施工学／木造建築構造学(5～8限)
	7・8	〈武智〉	調理学実習(E)(7～9時限)	〈中村〉 〈武智〉	被服学実習Ⅱ(C)(7・8時限) 応用調理学実習(E)(7～9時限)
	9・10				
木	1・2	角 田 坂 井 根 本 岡 田	建築一般構造学 建築・住宅論／建築史Ⅱ ランドスケープ・デザイン論 家族関係論	根本ほか	住環境造形実習(1～4時限)
	3・4	〈中山〉 加藤(亜)	都市計画学 住居デザイン学	〈楊〉	住環境法規(3・4時限)
	5・6	加藤ほか	設計演習Ⅲ(5～7時限)	根本ほか ※	設計演習Ⅳ(5～7時限) 下記「集中・その他」欄の注5 を参照のこと(5～8時限)
	7・8	根本ほか	住環境学概論		
	9・10			加藤(亜)	空間デザイン学
金	1・2				
	3・4	根本ほか 山 本	設計演習Ⅴ(2～4時限) 生活空間計画学／生活空間解析Ⅰ(3・4時限)	坂 井 原田ほか	建築・住居史／建築史Ⅰ 衣環境学概論
	5・6	加藤ほか	設計演習Ⅰ(5～7時限)	根 本 ※	緑地環境計画論(5・6時限) 下記「集中・その他」欄の注1～4 を参照のこと(5～8時限)
	7・8			根本ほか	設計演習Ⅱ(7～9時限)
	9・10				
集中・ その他		加藤・(近藤(直)) 住環境全教員 角 田 角 田 山 本	デジタルデザイン演習(前期集中) 卒業研究Ⅰ(前期) 不静定構造力学(前期集中) 不静定構造力学演習(前期集中) まちづくり演習B(前期集中)	吉田(伸) 許 角 田 藤 平 藤 平 藤平・(安藤) 角 田 室 崎 住環境全教員 住環境全教員 (花輪)	(注1)建築環境学実習(後期集中) (火の1～4時限、金の5～8時限) (注2)建築装備学実習(後期集中) (火の1～4時限、金の5～8時限) (注3)建築構造学実習(後期集中) (火の1～4時限、金の5～8時限) (注4)住居管理学実習Ⅱ(後期集中) (火の1～4時限、金の5～8時限) (注5)住居管理学実習Ⅰ(後期集中) (木の5～8時限) CAD演習(後期集中) 建築振動論(後期集中) まちづくり演習A(後期集中) 住環境学基礎実習(後期集中) 卒業研究Ⅱ(後期) 生活経営学(後期集中)
			山本・住環境学学外実習Ⅰ(インターンシップ)(集中) 山本・住環境学学外実習Ⅱ(インターンシップ)(集中) 根本・住環境学学外演習(合宿演習)(集中)		

〈 〉の担当教員は非常勤講師

曜日	時限	文化情報学科・生活文化学コース(前期)		文化情報学科・生活文化学コース(後期)	
		担当教員	授業科目	担当教員	授業科目
月	1・2	高村ほか	食物科学概論		
	3・4	全教員 青木 (山本(展))	文化情報学概論 生活経済学演習 育児学		
	5・6	(祐野) 野田	社会統計学 社会システム論演習	岡田	家族関係論演習
	7・8	高田 青木	応用数学Ⅰ(微分積分学) 食と農の経済学	高田 青木	応用数学Ⅱ(線型代数学) 生活経済学
	9・10	(千代延)	情報と職業	(古田)	被服学実習Ⅱ(A)
火	1・2	(巽)	家族援助法		
	3・4	安藤	人間関係文化論外書講読		
	5・6	安藤 山崎	人間関係論演習 視覚文化論	安藤	人間関係文化論
	7・8	山崎	服飾とジェンダー	山崎	視覚文化論演習
	9・10	須藤 松本	生活文化と人工知能 経営データサイエンス		
水	1・2				
	3・4			(村瀬)	消費経済分析論
	5・6	野田	社会システム論	野田 (磯部)	生活の情報管理とシステム 食生活文化論
	7・8	(依藤) (武智)	ソーシャルリサーチ論 調理学実習(E)(7～9時限)	(鈴木) (武智)	Multicultural Society 応用調理学実習(E)(7～9時限)
	9・10				
木	1・2	岡田 (中村)	家族関係論 被服学実習Ⅰ(A)	生活文化全教員	生活文化学入門
	3・4	(小谷) 鈴木	経済政策 生活文化史演習		
	5・6	大塚 野田	消費者法 生活文化学の方法	大塚 (吉井)	消費者法演習 失敗学と創造学
	7・8	根本ほか	住環境学概論(住環境学科開講科目)	安橋 大塚	企業経済論演習 ライフスタイルと法
	9・10			学科全教員	文化情報学演習(9・10限)
金	1・2	安橋	経済原論Ⅰ(ミクロ経済学)	安橋	経済原論Ⅱ(マクロ経済学)
	3・4	(吉井)	生活と情報倫理	原田ほか	衣環境学概論
	5・6	林田 岡田	ジェンダー文化論 ライフコース論	林田	ジェンダー理論
	7・8	林田 鈴木	ジェンダー文化論演習 医療社会文化史	鈴木	女性生活史
	9・10				
集中・その他		(岡田) 生活文化教員 生活文化教員	情報社会学(前期集中) 生活文化学卒業演習Ⅰ(前期・各教員ごとに時間設定) 卒業研究Ⅰ(前期)	(池田) (花輪) 生活文化教員 生活文化教員 生活文化教員	生活と統計学(後期集中) 生活経営学(後期集中) 生活文化学演習(後期・各教員ごとに時間設定) 生活文化学卒業演習Ⅱ(後期・各教員ごとに時間設定) 卒業研究Ⅱ(後期)
大塚・インターンシップ実習(生活文化学) (集中)					

() の担当教員は非常勤講師

曜日	時限	文化情報学科・生活情報通信科学コース(前期)		文化情報学科・生活情報通信科学コース(後期)	
		担当教員	授 業 科 目	担当教員	授 業 科 目
月	1・2	鴨	プログラミング言語 I		
	3・4	全教員 新 出	文化情報学概論 言語処理系論	鴨・藤原	アルゴリズムとデータ構造
	5・6			須 藤	生活と人工知能
	7・8	高 田 松 本 青 木	応用数学 I (微分積分学) オペレーティングシステム論 食と農の経済学	高 田	応用数学 II (線型代数学)
	9・10	〈千代延〉 水 原	情報と職業 ソーシャルコンピューティング論	松 本 新 出	計算機アーキテクチャ論 生活と数理理論学
火	1・2				
	3・4				
	5・6	松本ほか	計算機実験 I (5～8 時限)	鴨 安 藤	離散数学 人間関係文化論
	7・8			〈石川〉	情報処理技術 II (7～10 時限)
	9・10	須 藤 松 本	生活文化と人工知能 経営データサイエンス		
水	1・2	高 田	プログラミング言語 II (1～4 時限)	松本ほか	計算機実験 II (1～4 時限)
	3・4				
	5・6	阿久津	生活者目線と人間中心デザイン	野田	生活の情報管理とシステム
	7・8	〈依藤〉	ソーシャルリサーチ論 (7・8 時限)		
	9・10	石 丸	生活と人工知能演習 (7～10 時限)		
木	1・2	鴨・高田	プログラミング言語演習 (1～4 時限)		
	3・4	藤 原	ソフトウェア工学概論 (3・4 時限)		
		岡 田	家族関係論 (3・4 限)	瀧 本	情報セキュリティ
	5・6	大 塚 須 藤	消費者法 パターン認識	〈吉井〉	失敗学と創造学
	7・8	新 出	論理回路論	松本・藤原 水 原	計算機ネットワーク 生活と情報理論
	9・10			学科全教員	文化情報学演習
金	1・2				
	3・4	〈吉井〉	生活と情報倫理	高 田	データベース論
	5・6	林 田	ジェンダー文化論	林 田	ジェンダー理論 (5～6 時限)
		鴨	グラフ理論	高 田	データベース演習 (5～8 時限)
	7・8	〈石川〉	情報処理技術 I (7～10 時限)		
9・10					
集中・その他		〈岡田〉 高田ほか コース全教員 コース全教員	情報社会学(前期集中) プログラミング特別演習 I (前期集中) 卒業研究 I (前期) 卒業研究 III (前期)	〈池田〉 松本ほか 高田ほか コース全教員 コース全教員	生活と統計学(後期集中) 情報処理技術特別演習(後期集中) プログラミング特別演習 II (後期集中) 卒業研究 II (後期) 卒業研究 IV (後期)
			〈吉田〉・ヒューマンインターフェース概論(集中)		

〈 〉 の担当教員は非常勤講師

曜日	時限	情報衣環境学科・衣環境学コース(前期)		情報衣環境学科・衣環境学コース(後期)	
		担当教員	授 業 科 目	担当教員	授 業 科 目
月	1・2	高村ほか	食物科学概論		
	3・4	〈山本(展)〉	育児学		
	5・6				
	7・8	高 田	応用数学Ⅰ(微分積分学)(7・8時限)	高 田	応用数学Ⅱ(線型代数学)
	9・10	〈千代延〉	情報と職業		
火	1・2				
	3・4				
	5・6				
	7・8				
	9・10	松 本	経営工学		
水	1・2			原 田	生活界面化学
	3・4	原 田	衣環境管理学		
	5・6				
	7・8	〈武智〉	調理学実習(E)(7～9時限)		
	9・10				
木	1・2				
	3・4				
	5・6			〈吉井〉	失敗学
	7・8	根本ほか	住環境学概論		
	9・10				
金	1・2				
	3・4			原田ほか	衣環境学概論
	5・6				
	7・8				
	9・10				
集中・ その他		吉田(哲)	形態情報論(前期集中)	佐 藤 吉田(哲) 佐 藤 〈池田〉 吉田(哲) コース全教員	アパレル工学(後期集中) 生活と多変量解析/生活感性工学(後期集中) 衣環境学実験Ⅲ(物理)(後期集中) 生活と統計学(後期集中) 形態情報論実習(後期集中) 卒業研究Ⅱ(後期)

〈 〉の担当教員は非常勤講師

曜日	時限	情報環境学科・生活情報通信科学コース(前期)		情報環境学科・生活情報通信科学コース(後期)	
		担当教員	授 業 科 目	担当教員	授 業 科 目
月	1・2				
	3・4	新 出	言語処理系論		
	5・6				
	7・8	高 田 松 本	応用数学 I (微分積分学) オペレーティングシステム論	高 田	応用数学 II (線型代数学)
	9・10			松 本 新 出	計算機アーキテクチャ論 数理論理学
火	1・2				
	3・4				
	5・6	松本ほか	計算機実験 1 (5～8時限)	鴨	離散数学
	7・8				
	9・10	松 本	経営工学		
水	1・2				
	3・4				
	5・6				
	7・8				
	9・10				
木	1・2				
	3・4				
	5・6	須 藤	パターン認識	〈吉井〉	失敗学
	7・8			松本・藤原	計算機ネットワーク
	9・10				
金	1・2				
	3・4				
	5・6	鴨	グラフ理論		
	7・8				
	9・10				
集中・ その他		吉田(哲) 鴨 コース全教員	形態情報論(前期集中) 数値解析(前期集中) プログラミング特別演習 I (前期集中)	新 出 (池田) コース全教員 コース全教員 コース全教員	シミュレーション科学(後期集中) 生活と統計学(後期集中) プログラミング特別演習 II (後期集中) 情報処理技術特別講義 III (後期集中) 卒業研究 IV (後期)

〈 〉 の担当教員は非常勤講師

曜日	時限	生活文化学科(前期)		生活文化学科(後期)	
		担当教員	授 業 科 目	担当教員	授 業 科 目
月	1・2				
	3・4	青 木	生活経済学演習		
	5・6	野 田	社会システム論演習		
	7・8	青 木	食と農の経済学	青 木	生活経済学
	9・10				
火	1・2	〈巽〉	家族援助法		
	3・4	安 藤	人間関係文化論外書講読		
	5・6	安 藤	人間関係論演習	安 藤	人間関係文化論
	7・8				
	9・10				
水	1・2				
	3・4			〈村瀬〉	消費経済分析論
	5・6	野 田	社会システム論	野 田 〈磯部〉	生活の情報管理とシステム 食生活文化論
	7・8			〈鈴木〉	Multicultural Society / 多文化共生論
	9・10				
木	1・2			全教員	生活文化学入門
	3・4	鈴 木 〈小谷〉	生活文化史演習 経済政策		
	5・6	大 塚 野 田	消費者法 生活文化学の方法	大 塚	消費者法演習
	7・8	根本ほか	住環境学概論	安 橋	企業経済論演習
	9・10				
金	1・2	安 橋	経済原論Ⅰ(マイクロ経済学)	安 橋	経済原論Ⅱ(マクロ経済学)
	3・4				
	5・6			林 田	ジェンダー理論
	7・8	林 田 鈴 木	ジェンダー文化論演習 医療社会文化史	鈴 木	女性生活史
	9・10				
集中・ その他			生活文化教員 生活文化教員	生活文化学卒業演習Ⅱ(後期・各教員ごとに時間設定) 卒業研究Ⅱ(後期)	
大塚・インターンシップ実習(生活文化学) (集中)					

〈 〉 の担当教員は非常勤講師

令和7年度生活環境学部専門教育科目 積極開放科目

担当教員	講義コード	開 講 科 目 (講義題目)	週時数	単 位	開講期	備 考
食物栄養学科						
高 村	5353000	食品加工学	2	2	前期	
心身健康学科						
鷹 股	5702000	女性健康論	2	2	後期	
吉 本	5723000	食健康論	2	2	前期	
住環境学科						
室 崎	5501100	住生活学	2	2	前期	
藤 平	5515000	住居管理学	2	2	前期	
坂 井	5503500	建築史 I	2	2	後期	
坂 井	5504500	建築史 II	2	2	前期	
文化情報学科						
安 橋	5941000	経済原論Ⅱ (マクロ経済学)	2	2	後期	
須 藤	5912000	生活文化と人工知能	2	2	前期	令和4年度以降入学者対象

